

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会 第2回総会



国民スポーツ大会ブランドロゴ



全国障害者スポーツ大会シンボルマーク

スポーツは、
もと
オモシロイ。

国民スポーツ大会スローガンロゴ

日時：令和7年7月1日（火）午後1時30分

場所：ホテル中山荘 ダイアモンドホール

つむぐ 感動 神話 となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会 第2回総会

日時：令和7年7月1日（火） 午後1時30分～
場所：ホテル中山荘 ダイヤモンドホール

次 第

1 開 会

2 議 事

（1） 報告事項

報告第1号	都城市実行委員会委員及び役員等の変更について	P1
報告第2号	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 開催準備経過	P7
報告第3号	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 各種会期の決定について	P10
報告第4号	日本のひなた宮崎 障スポ オープン競技の決定について	P12
報告第5号	第1回常任委員会における審議決定事項について	P13
報告第6号	第1回専門委員会における審議決定事項について	P22
報告第7号	会長が専決処分した事項について	P44

（2） 審議事項

議案第1号	都城市実行委員会 令和6年度事業報告	P45
議案第2号	都城市実行委員会 令和6年度収支決算	P50
議案第3号	都城市実行委員会 令和7年度事業計画（案）	P52
議案第4号	都城市実行委員会 令和7年度収支予算（案）	P55

3 閉 会

○ 参考資料

【資料1】	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要	P56
【資料2】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催基本方針	P59
【資料3】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会推進体制	P60
【資料4】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画	P61
【資料5】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会総会から常任委員会への委任事項	P67
【資料6】	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ競技会場地一覧	P68

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会委員及び

役員等の変更について

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会会則第8条第1項及び第3項に基づき、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会委員及び役員等の変更について、次のとおり報告します。

(順不同・敬称略)

副会長（1名）

機関・団体・役職名	新任者	前任者
一般財団法人都城市スポーツ協会 会長	星原 透	岩崎 透

常任委員（15名）

機関・団体・役職名	新任者	前任者
宮崎県バレーボール協会 会長	相星 正人	寺村 明之
宮崎県高等学校体育連盟都北支部 支部長	光神 省三	山下 勉
都城市小学校長会 会長	坂元 恵美子	大澤津 雄作
都城市中学校長会 会長	深江 祐史	島寄 善真理
都城警察署 署長	田中 宏光	中山 貴樹
都城市地域振興部 部長	大田 晃子	福重 通宏
都城市環境森林部 部長	外山 保志	別府 雅彦
都城市こども部 部長	池田 尚子	福永 朱美
都城市農政部 部長	神田 直樹	田畑 聖一
都城市商工部 部長	久保 尚裕	横山 哲英
都城市観光PR部 部長	横山 哲英	原口 文代
都城市スポーツ部 部長	原口 文代	
都城市土木部 部長	岸良 創一	馬場 芳男
都城市議会事務局 局長	鵜島 智久	本村 英宏
都城市消防局 局長	徳重 雄一	増満 幸治

監事（1名）

機関・団体・役職名	新任者	前任者
都城市 会計管理者	田代 智子	竹下 昌治

委員（１５名）

機関・団体・役職名	新任者	前任者
国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所都城出張所 出張所長	橋住 伸一郎	長友 明人
宮崎県都城土木事務所 所長	田中 智也	山浦 弘志
宮崎県教育庁南部教育事務所 所長	石川 優子	三輪 正憲
都城地区保幼小連絡協議会 会長	甲斐 かおり	坂元 恵美子
都城市通り会連絡協議会 会長	濟陽 順司	音山 尚登
一般社団法人都城青年会議所 理事長	堀之内 博樹	川田 匠
一般社団法人歯科医師会 会長	中崎 幸司	濱田 剛
都城地区交通安全協会 会長	中村 壽秀	佐々木 鴻昭
都城地区地域安全協会 事務局長	新宮 高弘	甚野 直美
山田地区まちづくり協議会 会長	福重 昭弘	及川 達郎
宮崎県高等学校ＰＴＡ連合会都北支部 代表	木脇 大元	宇崎 紘一朗
ボーイスカウト宮崎連盟都城第１団 団委員長	有馬 政彦	野口 京一
ガールスカウト宮崎県第１３団 団委員長	中山 晴美	安藤 愛美
都城市ボランティアセンター 所長	富山 裕美	川崎 博志
西日本高速道路株式会社九州支社宮崎高速道路事務所 所長	徳弘 哲也	麻生 貴文

参与（２名）

機関・団体・役職名	新任者	前任者
読売新聞 記者	杉尾 毅	木村 歩
UMKテレビ宮崎	調整中	又川 岳人

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会委員・役員等

(順不同・敬称略)

(新任者については、備考欄に「*」を記載)

【会 長】 1名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市関係	都城市	市長	池田 宜永	

【副会長】 5名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市議会関係	都城市議会	議長	神脇 清照	
スポーツ関係	一般財団法人都城市スポーツ協会	会長	星原 透	*
市関係	都城市	副市長	吉永 利広	
	都城市	副市長	西田 員敏	
	都城市教育委員会	教育長	児玉 晴男	

【常任委員】 36名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市議会関係	都城市議会	副議長	音堅 良一	
県競技団体	一般財団法人宮崎陸上競技協会	会長	林田 洋二	
	宮崎県ソフトテニス連盟	会長	寺園 閑順	
	宮崎県バレーボール協会	会長	相星 正人	*
	一般社団法人宮崎県バスケットボール協会	会長	神戸 博明	
スポーツ関係	都城市スポーツ推進委員協議会	会長	中西 昇治	
	都城地区小学校体育連盟	会長	長谷川 雅一	
	都城地区中学校体育連盟	会長	木宮 崇子	
	宮崎県高等学校体育連盟都北支部	支部長	光神 省三	*
	一般社団法人都城市スポーツコミッション	専務理事兼事務局長	田中 芳也	
学校関係	都城市小学校長会	会長	坂元 恵美子	*
	都城市中学校長会	会長	深江 祐史	*
	宮崎県立高等学校長協会 都城地区	理事	村山 育志	
産業・経済関係	都城商工会議所	会頭	安田 耕一	
通信・運輸関係	宮崎交通株式会社都城営業所	所長	頼本 健一郎	
宿泊・観光関係	一般社団法人都城観光協会	会長	東郷 研哉	
医療関係	公益社団法人都城市北諸県郡医師会	会長	田口 利文	
社会団体関係	社会福祉法人都城市社会福祉協議会	会長	島津 久友	
国・県関係	都城警察署	署長	田中 宏光	*
市関係	都城市総合政策部	部長	西川 隆二	
	都城市総務部	部長	畑中 和行	
	都城市地域振興部	部長	大田 晃子	*
	都城市環境森林部	部長	外山 保志	*
	都城市福祉部	部長	満安 真由美	
	都城市こども部	部長	池田 尚子	*
	都城市健康部	部長	岩崎 日花里	
	都城市農政部	部長	神田 直樹	*
	都城市商工部	部長	久保 尚裕	*
	都城市観光PR部	部長	横山 哲英	*
	都城市スポーツ部	部長	原口 文代	*
	都城市ふるさと納税部	部長	新村 和彦	
	都城市土木部	部長	岸良 創一	*
	都城市上下水道局	局長	石川 誠	
	都城市教育委員会	部長	黒木 有美子	
	都城市議会事務局	局長	鶴島 智久	*
	都城市消防局	局長	徳重 雄一	*

【監 事】 2名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
市関係	都城市	代表監査委員	新井 克美	
	都城市	会計管理者	田代 智子	*

【委 員】 76名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
国・県関係	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所都城国道維持出張所	出張所長	藤井 理隆	
	国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所都城出張所	出張所長	橋住 伸一郎	*
	宮崎県都城土木事務所	所長	田中 智也	*
	宮崎県都城保健所	所長	坂元 昭裕	
	宮崎県北諸県農林振興局	局長	大田 直	
	宮崎県教育庁南部教育事務所	所長	石川 優子	*
県競技団体	宮崎県バウンドテニス協会	会長	植村 加代子	
	宮崎県ゲートボール協会	会長	水久保 豊	
	宮崎県パークゴルフ協会連合会	会長	大重 陽一	
	宮崎県ボッチャ協会	会長	図師 博規	
市競技団体	都城市陸上競技協会	会長	神脇 清照	
	都城市ソフトテニス連盟	会長	石崎 陽一	
	都城地区バレーボール協会	会長	倉吉 教文	
	都城バスケットボール協会	会長	二見 康之	
スポーツ関係	都城市スポーツ少年団本部	本部長	星原 透	
学校関係	都城地区保幼小連絡協議会	会長	甲斐 かおり	*
産業・経済関係	山之口町商工会	会長	山元 浩之	
	高城町商工会	会長	安藤 武	
	山田町商工会	会長	長友 俊美	
	高崎町商工会	会長	中島 美智也	
	荘内商工会	会長	河野 一治	
	中郷商工会	会長	栢 則昭	
	都城市通り会連絡協議会	会長	濟陽 順司	*
	一般社団法人都城青年会議所	理事長	堀之内 博樹	*
	宮崎県農業協同組合 都城地区本部	地区本部長	矢吉 照美	
	都城森林組合	代表理事組合長	志々目 道夫	
	都城建設関連団体連合会	会長	長友 俊美	
通信・運輸関係	九州旅客鉄道株式会社	南宮崎駅長	石井 孝一	
	一般社団法人宮崎県タクシー協会都城支部	支部長	奥津 貞一郎	
	一般社団法人宮崎県トラック協会都城支部	支部長	草水 裕之	
	日本郵便株式会社都城郵便局	局長	若松 博文	
	西日本電信電話株式会社宮崎支店	支店長	横奥 宏明	
	九州電力株式会社 都城営業センター	センター長	吉村 啓悟	
	西日本高速道路株式会社九州支社宮崎高速道路事務所	所長	徳弘 哲也	*
宿泊・観光関係	都城市ホテル協会	会長	徳留 弘二	
	都城市郡ホテル旅館組合	組合長	常盤 幸嗣	
	都城市高城観光協会	会長	安藤 武	
	都城市食生活改善推進員連絡協議会	会長	松尾 伊津子	
	公益社団法人宮崎県栄養士会	理事	山下 幸仁	
	宮崎県飲食業生活衛生同業組合都城支部	支部長	中村 慎一朗	
	都城地区食品衛生協会	会長	徳留 弘二	
医療関係	一般社団法人都城歯科医師会	会長	中崎 幸司	*
	一般社団法人都城市北諸県郡薬剤師会	会長	落合 晋介	
	公益社団法人宮崎県看護協会	都城・北諸県地区理事	荒武 昌代	
警備・消防関係	都城地区交通安全協会	会長	中村 壽秀	*
	都城地区地域安全協会	事務局長	新宮 高弘	*

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
社会団体関係	姫城地区まちづくり協議会	会長	柿木原 康雄	
	小松原地区まちづくり協議会	会長	平嶋 弘平	
	妻ヶ丘地区まちづくり協議会	会長	堀川 渉	
	祝吉地区まちづくり協議会	会長	山下 孝一	
	五十市地区まちづくり協議会	会長	凶師 光春	
	横市地区まちづくり協議会	会長	柏木 健一郎	
	住みよいまち沖水協議会	会長	三島 美蔓	
	志和池地区まちづくり協議会	会長	常盤 靖雄	
	庄内地区まちづくり協議会	会長	前田 和憲	
	西岳地区まちづくり協議会	会長	古江 健一	
	中郷地区まちづくり協議会	会長	永田 勇作	
	山之口地区まちづくり協議会	会長	有川 俊一郎	
	高城地区まちづくり協議会	会長	石田 操	
	山田地区まちづくり協議会	会長	福重 昭弘	*
	高崎地区まちづくり協議会	会長	鶴田 輝夫	
	都城市自治公民館連絡協議会	会長	柿木原 康雄	
	都城市PTA連絡協議会	会長	吉永 健一	
	宮崎県高等学校PTA連合会都北支部	代表	木脇 大元	*
	ボーイスカウト宮崎連盟都城第1団	団委員長	有馬 政彦	*
	ガールスカウト宮崎県第13団	団委員長	中山 晴美	*
	ガールスカウト宮崎県第22団	団委員長	川内 奈津子	
	都城市高齢者クラブ連合会	会長	岩切 正道	
	都城市身体障害者福祉協会	事務局長	倉山 幸一	
	山之口町身体障がい者更生会	会長	稲田 伸征	
	都城市高城地区身体障害者福祉会	会長	永田 照明	
	高崎町身体障害者福祉会	会長	永田 浩一	
	都城市民生委員児童委員協議会	会長	坂元 京子	
	都城市ボランティアセンター	所長	富山 裕美	*
	一般社団法人都城芸術文化協会	会長	中西 徹博	
	一般社団法人都城国際交流協会	常務理事	藤元 幸一郎	

【顧 問】 9名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
国会議員	衆議院	議員	古川 禎久	
	参議院	議員	松下 新平	
	参議院	議員	長峯 誠	
県議会議員	宮崎県議会	議員	山下 博三	
	宮崎県議会	議員	二見 康之	
	宮崎県議会	議員	荒神 稔	
	宮崎県議会	議員	今村 光雄	
	宮崎県議会	議員	永山 敏郎	
	宮崎県議会	議員	山内 いっとく	

【参 与】 19名

区 分	機関・団体名	役職	氏名	備考
国・県関係	陸上自衛隊	第43普通科連隊長兼ねて都城駐屯地司令	石岡 直樹	
市議会関係	都城市議会	総務委員会委員長	佐藤 紀子	
	都城市議会	文教厚生委員会委員長	別府 英樹	
	都城市議会	建設委員会委員長	中田 悟	
	都城市議会	産業経済委員会委員長	筒井 紀夫	
報道関係	毎日新聞社	記者	下藺 和仁	
	読売新聞	記者	杉尾 毅	*
	南日本新聞社	都城総局長	深野 修司	
	宮崎日日新聞社	都城支社長	三輪 誠	
	MRT宮崎放送	営業局都城支社長	坂元 伸一	
	NHK宮崎放送局	都城支局長	福島 雅博	
	UMKテレビ宮崎	調整中	---	*
教育関係	BTV株式会社	代表取締役	江夏 拓三	
	南九州大学	学長	中瀬 昌之	
市教委関係	独立行政法人国立高等専門学校機構都城工業高等専門学校	校長	田村 隆弘	
	都城市教育委員会	教育委員	赤松 國吉	
	都城市教育委員会	教育委員	中原 正暢	
	都城市教育委員会	教育委員	岡村 夫佐	
	都城市教育委員会	教育委員	宮田 若奈	

会長 1 名 副会長 5 名 常任委員36名 監事 2 名 委員76名 顧問 9 名 参与19名 計148名

【事務局】 23名

	機関・団体名	役職	氏名	備考
都城市国スポ・障スポ大会局		局長	福留 知	*
	総務企画課	課長	橋口 博文	*
		副課長	金政 誠	
		主幹	桑畑 隆二	*
		主幹	田代 理恵	
		副主幹	柳橋 明德	*
		副主幹	山下 剛志	
		主査	夏川 慶士朗	
		主任主事	久保 綺羅	
		主事	竹下 遼	*
		主事	河野 新之介	*
		会計年度任用職員	西村 美喜	
	競技運営課	課長	大久保 美千代	*
		副課長	天神 康補	
		主幹	西田 暢	
		主幹	柞木 信明	*
		副主幹	江本 美由紀	*
		主任主事	盛田 恵美	*
		主任主事	佐藤 小真葵	
		主事	大田 一葉	
		主事	西村 昌哉	*
		会計年度任用職員	黒木 沙織	
		会計年度任用職員	池田 彩夏	*

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 開催準備経過

※  は市関係分

年度	月	内 容
平成 26 年度	2	(公財)宮崎県体育協会が、宮崎県、宮崎県議会及び宮崎県教育委員会に「平成 38 年第 81 回国民体育大会の宮崎県開催招致要望書」を提出
		宮崎県知事が、宮崎県議会において、「平成 38 年第 81 回国民体育大会及び第 26 回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致」を表明
	3	宮崎県議会が、「平成 38 年第 81 回国民体育大会及び第 26 回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を全会一致で議決
平成 27 年度	4	宮崎県知事が、文部科学省に「平成 38 年第 81 回国民体育大会開催要望書」と「平成 38 年第 26 回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
		宮崎県知事が、(公財)日本体育協会に「平成 38 年第 81 回国民体育大会開催要望書」を、(公財)日本障がい者スポーツ協会に「平成 38 年第 26 回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
	7	(公財)日本体育協会において、「平成 38 年第 81 回国民体育大会開催申請書提出県」として了解(宮崎県開催が内々定)
平成 29 年度	10	第 81 回国民体育大会宮崎県準備委員会の設立
		宮崎県準備委員会において開催基本方針や会場地市町村選定基本方針等の決定
平成 30 年度	1	「正式競技」会場地市町村第 2 次選定：バレーボール(少年男子)、ソフトテニス(成年男女)
令和元年度	7	「正式競技」会場地市町村第 4 次選定：バスケットボール(成年男女)
		宮崎県準備委員会が名称を「第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会」に改称
令和 2 年度	4	都城市総合政策部内に「国民スポーツ大会準備室」設置
	7	「正式競技」会場地市町村第 7 次選定：総合開会式・閉会式、陸上競技(全種別)
		「公開競技」会場地市町村第 1 次選定：バウンドテニス(全種別)
	9	第 1 回庁内推進会議開催
		(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本障がい者スポーツ協会、文部科学省及び鹿児島県の 4 者が鹿児島国体を令和 5 年度に開催することを決定
		第 81 回国民スポーツ大会及び第 26 回全国障害者スポーツ大会を令和 9 年に 1 年延期することが決定
	10	日本スポーツ協会臨時国体委員会において、本県の国民スポーツ大会開催年が令和 9 年(2027 年)に変更され、開催申請書提出順序了解県(内々定県)として再決定
		中央競技団体正規視察「ソフトテニス」
		中央競技団体正規視察「バレーボール」
	1	第 2 回庁内推進会議開催

令和２年度	2	「公開競技」会場地市町村第２次選定：ゲートボール(全種別)
		「デモンストレーションスポーツ」会場地市町村第１次選定：パークゴルフ
		「全国障害者スポーツ大会」会場地市町村第１次選定：陸上競技(身体・知的)
令和３年度	6	第３回庁内推進会議開催
	7	「全国障害者スポーツ大会」会場地市町村第２次選定：開・閉会式、ボッチャ(身体)、バレーボール(身体)
	10	中央競技団体正規視察「陸上競技」
	1	第４回庁内推進会議開催
令和４年度	4	都城市総合政策部内の「国民スポーツ大会準備室」を「国スポ・障スポ準備課」に昇格
	5	第５回庁内推進会議開催
		都城市準備委員会 設立総会・第１回総会を開催
	6	文部科学省及び日本スポーツ協会に「第８１回国民スポーツ大会開催申請書」を提出
	7	日本スポーツ協会第３回理事会において、「第８１回国民スポーツ大会」の宮崎県開催が内定（国スポ内定に伴い第２６回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が合わせて内定）
	1	第６回庁内推進会議開催
令和５年度	2	都城市準備委員会 第１回常任委員会開催（書面開催）
	5	第７回庁内推進会議開催
	6	都城市準備委員会 第２回総会を開催
	11	都城市準備委員会 第１回総務企画専門委員会を開催
		都城市準備委員会 第１回競技式典専門委員会を開催
		都城市準備委員会 第１回宿泊衛生専門委員会を開催
		都城市準備委員会 第１回輸送交通専門委員会を開催
	1	第８回庁内推進会議開催
		中央競技団体正規視察「バスケットボール」
	2	「デモンストレーションスポーツ」選定：Ｕ１２バスケットボール
		都城市準備委員会 第２回常任委員会開催（書面開催）
令和６年度	4	総合政策部内の「国スポ・障スポ準備課」を「国スポ・障スポ推進課」に名称変更
	5	第９回庁内推進会議開催
		日本スポーツ協会及びスポーツ庁による総合視察
	7	日本スポーツ協会第３回理事会において、「第８１回国民スポーツ大会」の宮崎県開催及び大会会期が決定（国スポ決定に伴い第２６回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催が合わせて決定）
	9	都城市準備委員会 第３回総会・実行委員会 第１回総会開催（書面開催）

令和 6 年度	11	都城市実行委員会 第 1 回総務企画専門委員会を開催
		都城市実行委員会 第 1 回競技式典専門委員会を開催
		都城市実行委員会 第 1 回宿泊衛生専門委員会を開催
		都城市実行委員会 第 1 回輸送交通専門委員会を開催
		「第 26 回全国障害者スポーツ大会」の大会会期が決定
	12	日本スポーツ協会第 3 回国スポ委員会において、第 81 回国民スポーツ大会競技別会期が決定
	2	第 10 回庁内推進会議開催
		「全国障害者スポーツ大会」オープン競技決定：ブラインドテニス
令和 7 年度	4	新たに国スポ・障スポ大会局を立ち上げ、「総務企画課」「競技運営課」を設置
	6	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会第 10 回競技運営専門委員会において、「競技別リハーサル大会」及び「デモンストラーションスポーツ競技会会期」が決定
		日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会第 1 回宿泊衛生専門委員会弁当部会の実施
	7	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会第 2 回総会開催

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 各種会期の決定について

1 第26回全国障害者スポーツ大会（日本のひなた宮崎 障スポ）会期

令和6年11月29日（金）、日本のひなた宮崎 障スポの会期が決定されたことから、次のとおり報告します。

会期は、令和9年10月23日（土）～10月25日（月）までの3日間

2 第81回国民スポーツ大会（日本のひなた宮崎 国スポ）競技別会期

（1）令和6年12月12日（木）開催の（公財）日本スポーツ協会第3回国スポ委員会において、日本のひなた宮崎 国スポの競技別会期が決定されたことから、本市開催競技の競技別会期について、次のとおり報告します。

①正式競技

競技		種別	会場	競技 日数	2027年 競技会会期											
					9月					10月						
					26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	
総合開会式		KUROKIRI STADIUM		◎												
総合閉会式															◎	
陸上競技		全種別	KUROKIRI STADIUM	5						●	●	●	●	●		
バレーボール	6人制	少年男子	早水公園体育文化センター	4		●	●	●	●							
バスケットボール		成年男子	早水公園体育文化センター	4							●	●	●	●		
		成年女子	早水公園体育文化センター	4							●	●	●	●		
			高崎総合公園総合体育館	2							●	●				
ソフトテニス		成年男女	都城運動公園庭球場	2				●	●							

※全種別（成年男子、成年女子、少年男子、少年女子）

②公開競技

競技	種別	会場	競技 日数	競技日程
ゲートボール	全種別	都城運動公園陸上競技場	2	令和9年9月11日(土)～9月12日(日)
バウンドテニス	全種別	早水公園体育文化センター	2	令和9年8月28日(土)～8月29日(日)

(2) 令和7年6月4日(水)開催の日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会第10回競技運営専門委員会において、競技別リハーサル大会及びデモンストレーション競技会会期が決定されたことから、本市開催競技の競技別会期について、次のとおり報告します。

① 競技別リハーサル大会

競技	大会名	会場	競技日程
ソフトテニス	男子第71回・女子第70回 全日本実業団ソフトテニス選手権大会	都城市運動公園庭球場	令和8年8月1日(土)～8月2日(日)
陸上競技	第81回九州陸上競技選手権大会	KUOKIRI STADIUM	令和8年8月21日(金)～8月23日(日)
バレーボール	6人制 令和8年度第37回全九州選抜高等学校 バレーボール大会	早水公園体育文化センター	令和9年2月13日(土)～2月14日(日)
		高城運動公園総合体育館	
バスケットボール	第57回全九州高等学校バスケットボール 春季選手権大会	早水公園体育文化センター	令和9年2月19日(金)～2月21日(日)
		高崎総合運動公園総合体育館	

② デモンストレーションスポーツ

競技	会場	競技 日数	競技日程
U12バスケットボール	高城運動公園総合体育館	1	令和9年4月11日(日)
パークゴルフ	かかしの里パークゴルフ場	1	令和9年9月5日(日)
	高崎パークゴルフ場	1	

日本のひなた宮崎 障スポ オープン競技の決定について

開催競技の追加について

令和7年2月5日開催の日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会第16回常任委員会において、オープン競技の追加が決定されたので、次のとおり報告します。

競技名	障がいの種類	実施団体	開催予定施設
ブラインドテニス	身体	九州ブラインドテニス協会準備室	早水公園体育文化センター

(参考) 全国障害者スポーツ大会開催基準要項 (抜粋)

7. 実施競技

- (1) 実施競技は、別途定める「全国障害者スポーツ大会競技規則」(以下、「競技規則」という。)に定められた個人競技及び団体競技とし、団体競技は都道府県・指定都市対抗とする。

なお、競技規則に定められていない競技・種目であっても、広く障害者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについては、あらかじめ主催者間で協議のうえ「オープン競技」として実施することができる。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会
第1回常任委員会における審議決定事項について

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会第1回常任委員会における審議決定事項は次のとおりです。

- (1) 都城市観光・接伴基本計画
- (2) 都城市リハーサル大会開催基本計画
- (3) 都城市式典基本計画
- (4) 都城市消防防災・警備基本計画
- (5) 都城市消防防災・警備業務実施要項

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市観光・接伴基本計画

1 趣旨

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画」に掲げる観光・接伴基本方針を推進するため、その基本的な取組などを示す「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市観光・接伴基本計画」を策定する。

2 目的

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」に参加する選手、監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の観光・おもてなしについては、本市を訪れるすべての方々を温かくお迎えするとともに、自然、歴史、文化、食など本市の多彩な魅力に触れていただくことで、「また訪れたい」と感じていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

3 内容

（１） 歓迎装飾の実施

大会参加者等を心温かく迎えるとともに、開催機運や歓迎ムードを高めるため、競技会場や主要駅、その他必要な場所に歓迎装飾を行う。

（２） 案内所の設置

大会参加者等の利便性を向上するため、競技会場、その他必要な場所に案内所を設置し、競技、宿泊、交通、観光、物産等の案内を行う。

（３） 休憩所の設置

大会参加者等が憩いの場・交流の場として利用するため、競技会場に休憩所を設置する。

（４） 売店等の設置

大会参加者等の利便性向上を図るとともに、本市の特産品等の紹介及び販売を促進するため、競技会場に売店等を設置する。

（５） おもてなしの提供

関係機関・団体等の協力を得て接遇意識の高揚を推進するとともに、大会参加者等との交流や本市への誘客を図るため、心のこもったおもてなしを提供する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市リハーサル大会開催基本計画

1 目的

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（以下「国スポ・障スポ」という。）の本市における競技別リハーサル大会（以下「リハーサル大会」という。）については、県の「第81回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項」及び「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会都城市競技運営基本計画」に基づき、競技会の運営能力向上と市民の気運醸成を図るため、県、競技団体、関係機関等と協力して開催する。

2 大会の選定

リハーサル大会は、県及び競技団体との協議により選定する。

3 大会の運営

リハーサル大会は、原則として国スポ・障スポに準じて運営するものとし、競技団体と協力し、目的や実績に応じ、必要最小限の経費で工夫を凝らして、質の高い効率的な大会運営に努める。

4 内容

（１） 実施本部の設置

リハーサル大会の運営に万全を期すため、大会実施本部を設置する。

（２） 競技運営

競技運営の主管は競技団体とし、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は競技団体との緊密な連携のもとに、合理的かつ効率的な運営を行うとともに、迅速かつ正確な記録の収集及び速報に努める。

（３） 式典

開・閉会式及び表彰式（以下「式典」という。）は、競技団体と協議し、競技運営に支障のないよう簡素化に努める。また、式典で使用する音楽は、ＣＤ等の活用を図るなど簡素化に努める。

（４） 施設

リハーサル大会で使用する施設は、原則として国スポ・障スポで使用する競技会場を充てることとし、できる限り国スポ・障スポと同じ条件により行う。また、リハーサル大会の運営に必要な仮設施設については、県、競技団体、施設管理者等と協議のうえ、必要最小限の整備を行う。

(5) 競技物品

リハーサル大会に必要な競技物品については、既存物品を活用することとし、不足する場合は、借用での対応を基本とする。また、物品を新たに購入する場合は、必要最小限とする。

(6) 広報・市民運動

国スポ・障スポに対する市民の理解を深め、市民総参加の気運を醸成するため、広報活動及び市民運動を展開する。

(7) 観光・おもてなし

リハーサル大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「リハーサル大会参加者等」という。）に心のこもったおもてなしを提供するため、必要に応じて歓迎装飾や案内所、休憩所、売店等を設置する。

(8) 医事・衛生

リハーサル大会参加者等の傷病に速やかに対処するため、関係機関等の協力を得て、医事救護体制を整えるとともに、清潔で快適な環境整備に努める。

(9) 輸送・交通

リハーサル大会参加者等の輸送については、原則として、公共交通機関を利用する。ただし、公共交通機関の状況や競技の特殊性等から必要と認めるときは、計画輸送を行う。

(10) 警備・消防

リハーサル大会を安全かつ円滑に運営するため、関係機関等と連携し、雑踏事故、火災その他災害、事故等の未然防止に努めるとともに、非常時における緊急対応に万全を期する。

5 その他

この計画に定めるもののほか、必要な事項は、市実行委員会の各基本計画に準じて実施する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市式典基本計画

1 目的

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」において本市で開催する式典については、大会参加者への歓迎、賞賛を表すものとし、県の「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会式典基本方針」及び「式典基本計画」に基づき、簡素・効率化等の創意工夫を図りつつ、本市の特色を生かした式典とする。

2 内容

(1) 開始式

開始式を実施する場合は、選手のコンディションに配慮し、競技運営に支障のないよう簡素化に努めることとする。

(2) 表彰式

表彰式は、競技団体及び関係機関等と協議、協力して実施するものとし、入賞者が、一般観覧者を含め競技会に参加した多くの人々と喜びを分かち合えるような、競技会終了にふさわしいものとする。

(3) 式典音楽

式典で使用する音楽は、CD等の活用を図るなど、できるだけ簡素なものとする。

3 その他

この計画に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市消防防災・警備基本計画

1 目的

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（以下「大会」という。）における消防防災・警備については、競技会場その他大会関係施設における災害の防止や治安の確保、非常時における緊急対応に万全を期するため、県の「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ警備・消防防災基本方針」、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ警備・消防・防災基本計画」及び「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市開催推進総合計画」に基づき、消防、警察及びその他関係機関（以下「関係機関等」という。）と緊密に連携し、消防防災・警備体制の確立を図ることを目的とする。

2 内容

（１） 消防防災対策

ア 競技会場、練習会場、宿泊施設、沿道等（以下「競技会場等」という。）の火災、その他の災害の予防並びに災害等の発生時における情報伝達、避難誘導、被害の拡大防止、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

イ 大会期間中の火災、その他の災害の防止及び災害の発生時の被害の軽減を図るため、関係機関等と連携し、防火・防災意識の高揚を図る。

（２） 警備対策

ア 競技会場等における事件、事故等の防止を重点とした適切な警備措置を講じる。

イ 大会期間中には、犯罪防止対策等の諸対策を推進し、犯罪の予防に努める。

（３） 大規模災害・突発重大事案対策

大規模災害及び突発重大事案発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

（４） 関係機関等との連絡調整

消防防災・警備対策の円滑な推進を図るため、関係機関等と緊密な連携を図るとともに、連絡体制を確立する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市消防防災・警備業務実施要項

1 趣旨

この要項は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市消防防災・警備基本計画」に基づき、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（以下「大会」という。）における消防防災・警備業務の実施について、万全を期するため必要な事項を定める。

2 実施期間

消防防災業務及び警備業務の実施期間は、大会準備期間中及び大会会期中、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）が必要と認める期間とする。

3 実施場所

消防防災業務及び警備業務の実施場所は、競技会場、練習会場、宿泊施設、沿道等（以下「競技会場等」という。）及びその他必要とされる場所とする。

4 実施体制

（１） 大会準備期間中

市実行委員会は、消防、警察及びその他関係機関（以下「関係機関等」という。）との連携を図りながら、平常時の業務体制で行う。

（２） 大会会期中

実行委員会実施本部内に設置する消防警備部が実施主体となり、必要に応じて、競技会場等に消防警備班を設置する。

5 消防防災業務

（１） 基本事項

ア 消防法等関係法令を遵守し、特に競技会場等の消防防災に取り組む。

イ 都城市地域防災計画及び各施設の消防計画に定められた事項を基本とする。

（２） 実施内容

ア 大会準備期間中

（ア） 競技会場等における消防防災体制の確立に関すること。

（イ） 競技会場等における消防防災設備、水利等の点検整備に関すること。

（ウ） 消防防災に必要な教育訓練の実施に関すること。

（エ） 防火防災意識の向上と啓発活動の推進に関すること。

（オ） 競技会場等での避難訓練に関すること。

（カ） 競技会場等の実地踏査に関すること。

(キ) 関係機関等との通信連絡体制の確立に関する事。

(ク) その他必要な消防防災業務に関する事。

イ 大会会期中

(ア) 競技会場等における火災等の予防、警戒及び鎮圧に関する事。

(イ) 競技会場等における救急救助に関する事。

(ウ) 競技会場等における避難経路の確保及び火災その他の災害発生時における避難誘導に関する事。

(エ) その他必要な消防防災業務に関する事。

(3) 広域配宿に係る対策

広域配宿に係る対策については、宿泊市町及び関係機関等と調整し実施する。

6 警備業務

(1) 基本事項

競技会場等の雑踏事故及びその他事件・事故の防止に取り組む。

(2) 実施内容

ア 大会準備期間中

(ア) 競技会場等における自主警備体制の確立に関する事。

(イ) 実地踏査の実施に関する事。

(ウ) 通信体制の確立に関する事。

(エ) 施設及び構造物の安全対策の推進に関する事。

(オ) 警備員の人員確保、事前教育及び訓練に関する事。

(カ) 関係機関等との連絡協力体制の確立に関する事。

(キ) その他必要な警備業務に関する事。

イ 大会会期中

(ア) 競技会場等における雑踏事故及びその他事件・事故の防止に関する事。

(イ) 通信手段の確保及び運用に関する事。

(ウ) 競技会場等における交通誘導警備に関する事。

(エ) 大会参加者等の競技会場等での誘導及び混雑防止の措置に関する事。

(オ) 競技会場等における避難通路の確保に関する事。

(カ) 入退場者管理に関する事。

(キ) 迷子及び遺失物への対応に関する事。

(ク) 不審者及び不審物の発見と適切な対応に関する事。

(ケ) 競技会場等への不法侵入予防、施錠確認等の管理に関する事。

(コ) 犯罪行為等、円滑な運営を妨害しようとする者への対応に関する事。

(サ) その他必要な警備業務に関する事。

7 大規模災害・突発重大事案対策業務

大規模災害及び突発重大事案に係る対策については、関係機関等と連携を図りながら対応する。

8 その他

- (1) 本市で開催する競技別リハーサル大会における消防防災・警備については、必要に応じてこの要項を準用する。
- (2) この要項に定めるもののほか、消防防災・警備業務の実施について必要な事項は、別に定める。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会
第1回専門委員会における審議決定事項について

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会第1回専門委員会における審議決定事項は次のとおりです。

・総務企画専門委員会

- (1) 都城市ボランティア募集要項の一部改正

・宿泊衛生専門委員会

- (1) 都城市医療救護要項
- (2) 都城市防疫対策要項
- (3) 都城市防疫対策実施要領
- (4) 都城市食品衛生対策要項
- (5) 都城市実行委員会宿泊衛生専門委員会弁当部会設置要項
- (6) 都城市弁当調達要項
- (7) 都城市環境衛生対策要項

・輸送交通専門委員会

- (1) 都城市輸送交通業務実施要項

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市ボランティア募集要項の一部改正

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市ボランティア募集要項を次のとおり改正する。

1 改正の内容について

別紙のとおり

2 改正の理由について

- ・市町村の負担軽減を図る県の動向や先催市の情報を考慮し、「広報ボランティア」を募集しないこととするため。
- ・各種団体の既存活動との連携を主体として推進し、「市民運動」については、ボランティアへの依頼をしないため。

以上のことから、「広報ボランティア」及び「市民運動」に関する内容について、一部改正を行うもの。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市ボランティア募集要項
新旧対照表

改正前		改正後																																						
1 趣旨 この要項は、本市で開催される「第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会」及び競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）において、市民一人ひとりが、性別、年齢、障がい等の有無に関係なく、それぞれの立場で積極的に参加し、大会参加者や一般観覧者を心のこもったおもてなしでお迎えするとともに、喜びと感動を共有する大会とするため、大会の<u>広報及び運営</u>に携わるボランティアの募集に関し、必要な事項を定める。		1 趣旨 この要項は、本市で開催される「第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会」及び競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）において、市民一人ひとりが、性別、年齢、障がい等の有無に関係なく、それぞれの立場で積極的に参加し、大会参加者や一般観覧者を心のこもったおもてなしでお迎えするとともに、喜びと感動を共有する大会とするため、大会の運営に携わるボランティアの募集に関し、必要な事項を定める。																																						
2 募集主体 （略）		2 募集主体 （略）																																						
3 活動内容 <u>大会等の広報及び</u>本市で開催する競技会の運営に携わるボランティアの主な活動内容は、次のとおりとする。 <table><tr><th colspan="2">区分</th><th>主な活動内容</th></tr><tr><td colspan="2"><u>広報・市民運動</u></td><td><u>大会等の PR 活動</u> <u>市民運動補助</u></td></tr><tr><td rowspan="7">競技会運営</td><td>会場受付</td><td>競技会場での受付、資料配布</td></tr><tr><td>案内</td><td>競技会場等での案内、情報提供</td></tr><tr><td>休憩所</td><td>休憩所におけるおもてなし</td></tr><tr><td>弁当配布</td><td>弁当の配布、空き箱の回収</td></tr><tr><td>会場整理</td><td>競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助</td></tr><tr><td>環境美化</td><td>競技会場内外の美化、清掃活動</td></tr><tr><td>その他</td><td>その他競技会運営に関する活動</td></tr></table>		区分		主な活動内容	<u>広報・市民運動</u>		<u>大会等の PR 活動</u> <u>市民運動補助</u>	競技会運営	会場受付	競技会場での受付、資料配布	案内	競技会場等での案内、情報提供	休憩所	休憩所におけるおもてなし	弁当配布	弁当の配布、空き箱の回収	会場整理	競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助	環境美化	競技会場内外の美化、清掃活動	その他	その他競技会運営に関する活動	3 活動内容 本市で開催する競技会の運営に携わるボランティアの主な活動内容は、次のとおりとする。 <table><tr><th>区分</th><th>主な活動内容</th></tr><tr><td>会場受付</td><td>競技会場での受付、資料配布</td></tr><tr><td>案内</td><td>競技会場等での案内、情報提供</td></tr><tr><td>休憩所</td><td>休憩所におけるおもてなし</td></tr><tr><td>弁当配布</td><td>弁当の配布、空き箱の回収</td></tr><tr><td>会場整理</td><td>競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助</td></tr><tr><td>環境美化</td><td>競技会場内外の美化、清掃活動</td></tr><tr><td>その他</td><td>その他競技会運営に関する活動</td></tr></table>		区分	主な活動内容	会場受付	競技会場での受付、資料配布	案内	競技会場等での案内、情報提供	休憩所	休憩所におけるおもてなし	弁当配布	弁当の配布、空き箱の回収	会場整理	競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助	環境美化	競技会場内外の美化、清掃活動	その他	その他競技会運営に関する活動
区分		主な活動内容																																						
<u>広報・市民運動</u>		<u>大会等の PR 活動</u> <u>市民運動補助</u>																																						
競技会運営	会場受付	競技会場での受付、資料配布																																						
	案内	競技会場等での案内、情報提供																																						
	休憩所	休憩所におけるおもてなし																																						
	弁当配布	弁当の配布、空き箱の回収																																						
	会場整理	競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助																																						
	環境美化	競技会場内外の美化、清掃活動																																						
	その他	その他競技会運営に関する活動																																						
区分	主な活動内容																																							
会場受付	競技会場での受付、資料配布																																							
案内	競技会場等での案内、情報提供																																							
休憩所	休憩所におけるおもてなし																																							
弁当配布	弁当の配布、空き箱の回収																																							
会場整理	競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助																																							
環境美化	競技会場内外の美化、清掃活動																																							
その他	その他競技会運営に関する活動																																							
4 募集期間 <u>(1) 広報・市民運動</u> 令和〇年度から適宜募集し、募集人数に達するまでとする。 <u>(2) 競技会運営</u> 令和〇年度から適宜募集し、募集人数に達するまでとする。		4 募集期間 令和 7 年度から適宜募集し、募集人数に達するまでとする。																																						
5 応募要件 ～ 15 その他 （略）		5 応募要件 ～ 15 その他 （略）																																						

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市ボランティア募集要項

1 趣旨

この要項は、本市で開催される「第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会」及び競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）において、市民一人ひとりが、性別、年齢、障がい等の有無に関係なく、それぞれの立場で積極的に参加し、大会参加者や一般観覧者を心のこもったおもてなしでお迎えするとともに、喜びと感動を共有する大会とするため、大会の運営に携わるボランティアの募集に関し、必要な事項を定める。

2 募集主体

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会（以下「実行委員会」という。）

3 活動内容

本市で開催する競技会の運営に携わるボランティアの主な活動内容は、次のとおりとする。

区分	主な活動内容
会場受付	競技会場での受付、資料配布
案内	競技会場等での案内、情報提供
休憩所	休憩所におけるおもてなし
弁当配布	弁当の配布、空き箱の回収
会場整理	競技会場における会場準備、来場者の誘導 駐車場等整理の補助
環境美化	競技会場内外の美化、清掃活動
その他	その他競技会運営に関する活動

4 募集期間

令和 7 年度から適宜募集し、募集人数に達するまでとする。

5 応募要件

平成27年4月1日以前（令和9年度中学生以上）に生まれた方で、次の各号のいずれかに該当すること。ただし、応募時点で18歳未満の方の申し込みについては、保護者の同意を得るものとする。

- (1) 本市に在住、通勤、通学している個人
- (2) 本市の活動拠点を有する団体
- (3) 上記以外に、実行委員会が必要と認めた個人及び団体

6 応募方法

所定の申込書に必要事項を記入し、実行委員会に持参もしくは郵送、ファックスにより申し込むか、実行委員会ホームページの応募フォームにより申し込む。

ただし、応募時点で18歳未満の方の申し込みについては、保護者の同意が必要となるため、郵送又は持参に限る。

7 登録・変更・取消

- (1) 実行委員会は、応募要件を満たした応募者をボランティアとして登録する。
- (2) 実行委員会は、本人または当該団体の代表者から届出があった場合に登録内容を変更することができる。
- (3) 実行委員会は、次の場合に登録を取り消すことができる。
 - ア 本人又は団体から申し出があった場合
 - イ 大会のイメージを損なう行為があった場合
 - ウ 大会運営に支障があると判断した場合

8 活動期間

ボランティア登録後から大会終了までとする。ただし、登録時点において小学生の場合、活動開始（研修会等を含む。）は中学生になってからとする。

9 活動内容の決定

登録者の具体的な活動内容については、実行委員会が実施する希望調査等を参考に決定する。

10 研修等

実行委員会は登録者に対し、大会に関する認識を深め、円滑な大会運営を行えるよう、必要に応じて研修会等を実施する。

11 報酬及び交通費

研修やボランティア活動等を含めた報酬は原則無償とし、交通費も自己負担とする。

12 服飾及び食事

ボランティアの活動にあたっては、ボランティアであることが識別できる服飾及び弁当等を、必要に応じて実行委員会が支給する。

13 保険

ボランティアの活動及び研修等にあたっては必要に応じて実行委員会の負担で「傷害保険」及び「損害賠償責任保険」に加入する。

それ以外の活動における事故等について、実行委員会は責任を負わないものとする。

14 個人情報の取り扱い

応募者の個人情報については、都城市個人情報保護法施行条例（平成 18 年 1 月 1 日条例第 29 号）をはじめ、関係法令の規定に基づき、適正に管理・保護する。ただし、申し込み時に宮崎県の実行委員会（以下「県実行委員会」という。）への情報提供に同意している登録者の情報に限り、県実行委員会からの要請に応じて提供することができるものとする。

15 その他

この要項に定めるもののほか、ボランティアの募集について必要な事項は別に定める。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市医療救護要項

1 趣旨

この要項は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市医事衛生基本計画」に基づき、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「大会」という。）における医療救護について万全を期するため、必要な事項を定める。

2 実施方法

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会と相互に連絡調整を図るとともに、関係機関等の協力を得て医療救護を実施する。

3 救護所の設置

（１） 設置場所

救護所は、各競技会場の適切な場所に設置する。

（２） 人員配置

救護所には、必要に応じて医師、看護師、保健師、救急隊員等を配置する。

（３） 医薬品等配備

救護所には、医薬品（ドーピング禁止物質を含有しないものに限る。以下同じ。）を配備するとともに、必要に応じて医療器具、A E D（自動体外式除細動器）等を配備する。

4 医療救護体制

医療救護体制については、次のとおり適切な対応を行う。

（１） 救護所における医療救護

救護所では、傷病者に対する応急処置を行うほか、必要に応じて医療機関に移送する。

（２） 練習会場における医療救護

練習会場に医薬品等を配備するとともに、必要に応じて係員等を配置する。

（３） 炬火イベント等における医療救護

本市内における炬火イベント等の開催に関して、必要に応じて医療救護を実施する。

（４） 宿舎における医療救護

大会参加者等が、宿舎において発病又は負傷した場合には、宿舎提供者が必要に応じて医療機関の紹介、または、救急自動車の出動依頼を行うとともに、その旨を速やかに本市実施本部に連絡する。また、市実行委員会は、本役割について宿舎提供者への周知に努める。

（５） 救急自動車等の配備

救急自動車等の配備については、別途、関係機関と協議して定める。

5 医療費の負担

救護所での応急処置に係る費用及び救急自動車等による移送費用を除き、医療費は全て受診者が負担するものとする。

6 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、医療救護の実施に関して必要な事項は、別に定める。
- (2) 大会の開催に伴い本市で実施する競技別リハーサル大会における医療救護についても、この要項を準用する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市防疫対策要項

1 趣旨

この要項は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市医事衛生基本計画」に基づき、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「大会」という。）における防疫対策について、必要な事項を定めるものとする。

2 実施方法

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会は、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 実行委員会（以下「県実行委員会」という。）と相互に連絡調整を図るとともに、関係機関等の協力を得て防疫対策を実施する。

3 実施業務

（１） 衛生に対する意識の向上

感染症の発生予防のため、市民及び大会参加者等の衛生に対する注意喚起を図り、手洗いをはじめとする感染対策等、予防に向けた取組を奨励する。

（２） 感染症に関する情報の収集及び提供

大会参加者等に感染症患者が発生した場合は、関係機関が迅速に対応できるよう、必要な連絡体制を整備する。また、本市内及び宮崎県内での流行状況を常に監視するとともに、ホームページ等を活用して大会参加者等への情報提供及び注意喚起を行う。

（３） 感染症患者発生時の措置

大会参加者等に感染症患者（疑似症患者，無症状病原体保有者を含む。）が発生した場合、患者に対して医療機関に関する情報を迅速に提供するなど、適切な治療を受けられるよう努める。また、感染の拡大防止に向けて保健所等の関係機関の指導・助言を遵守するとともに、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき必要な措置を講じる。

4 その他

（１） この要項に定めるもののほか、防疫対策の実施に関して必要な事項は別に定める。

（２） 大会の開催に伴い本市で実施する競技別リハーサル大会における防疫対策についても、この要項を準用する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市防疫対策実施要領

1 趣旨

この要領は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市防疫対策要項」に基づき、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「大会」という。）における防疫対策の実施について、必要な事項を定めるものとする。

2 実施内容

(1) 広報活動

ア 広報の内容

(ア) 手洗いの励行等基本的な感染症対策

(イ) 大会期間中に流行する可能性が高い感染症の予防対策

イ 活動の内容

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は、保健所と連携し、次により広報活動を実施する。

(ア) 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会（以下「県実行委員会」という。）が作成した啓発媒体の配布・掲示

(イ) 広報紙、ホームページ等の広報媒体を活用したPR

(ウ) 各種講習会及びイベント等を活用したPR

(2) 衛生備品の配置

市実行委員会は、大会期間中における競技会場・練習会場の入口や手洗い設備等に、必要に応じて手指用消毒液等の衛生備品を配備する。

(3) 感染症患者発生時の措置

市実行委員会は、選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者に感染症患者（疑似症患者、無症状病原体保有者を含む。）が発生した場合には、保健所の指導・助言を遵守し、まん延の防止に努める。

(4) 緊急連絡体制の整備

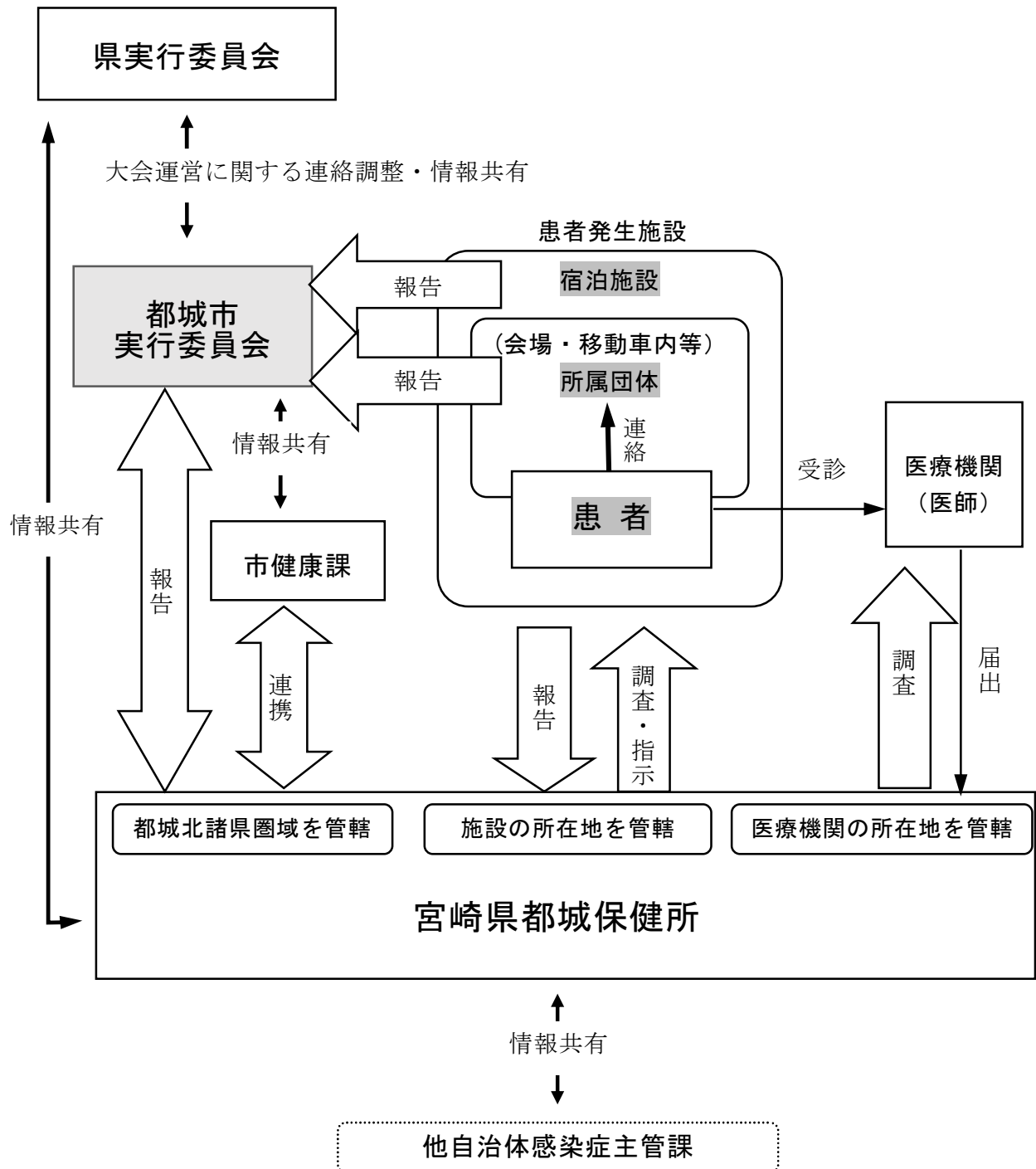
大会期間中における感染症の発生に備え、そのまん延を防止するため、別記のとおり緊急連絡体制を整備する。

3 その他

(1) 本市で開催する競技別リハーサル大会における防疫対策については、必要に応じてこのマニュアルを準用する。

(2) このマニュアルに定めるもののほか、防疫対策について必要な事項は、別に定める。

感染症（疑いを含む）発生時の緊急連絡体制



- ◆ 患者発生施設（宿泊施設・会場・移動車内等）又は患者所属団体は、直ちに都城市実行委員会に報告するとともに、感染症法に基づき、都城保健所に報告する。
- ◆ 都城市実行委員会は、上記報告のほか実施本部等を通して感染症に関する情報を得た場合直ちに都城保健所に報告する。
- ◆ 感染症が疑われる患者には、速やかに医療機関を受診させるとともに、都城保健所に連絡するよう、宿泊施設及び所属団体等に周知する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市食品衛生対策要項

1 趣旨

この要項は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市医事衛生基本計画」に基づき、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「大会」という。）における食品衛生対策について万全を期するため、必要な事項を定める。

2 実施方法

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 実行委員会と相互に連絡調整を図るとともに、関係機関等の協力を得て食品衛生対策を実施する。

3 食品衛生対策

（１）食品衛生に対する意識の向上

食品関係事業者及び市民並びに大会参加者等へ食品衛生に関する意識の向上を図り、食品の衛生的取扱いの向上を図る。

（２）食品衛生管理の強化

保健所及び関係機関等の協力を得て、弁当調製施設、宿泊施設、土産食品の製造・販売施設、競技会場等の食品販売店に対して食品衛生管理の強化を図り、施設の衛生確保及び食品衛生の向上に努める。

（３）健康管理等

食品関係事業者に対し、食中毒の発生予防を重点とした従事者の健康管理の徹底及び病原体保有者の発見に向けた保菌検査（検便）を励行するよう指導する。

ア 対象者

（ア）大会参加者等が宿泊する施設の食品関係従事者

（イ）大会参加者等に昼食（弁当を含む。）を提供する食品関係従事者

（ウ）競技会場等において食品を提供する売店の従事者

（エ）その他市実行委員会が必要と認めた者

イ 病原体保有者に対する対策

健康管理又は健康診断の結果、病原体保有者と判断された者については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づき必要な対策を講じる。

（４）食中毒発生時の対応

大会参加者等に食中毒患者が発生した場合は、食品衛生法等に基づき必要な措置を講じるとともに、関係機関が迅速に対応できるよう、必要な連携体制を整備する。

4 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
- (2) 本市で開催する競技別リハーサル大会における食品衛生対策についても、必要に応じてこの要項を準用する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会

宿泊衛生専門委員会弁当部会設置要項

1 趣旨

この要項は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会専門委員会規程第7条の規定に基づき、宿泊衛生専門委員会における弁当に関する部会の設置及び運営について、必要な事項を定めるものとする。

2 部会の名称及び調査研究事項

- (1) 名称は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会宿泊衛生専門委員会弁当部会（以下「部会」という。）とする。
- (2) 部会の調査研究事項は、次の各号に掲げるとおりとする。
 - ア 弁当調製施設の選定に関すること。
 - イ 弁当メニューに関すること。
 - ウ その他弁当に関すること。

3 部会長等

部会は、部会長及び部会委員をもって組織し、部会長及び部会委員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

4 その他

この要項に定めるもののほか、部会の運営について必要な事項は、別に定める。

別表

役 職 名	所 属
部 会 長	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会
委 員	公益社団法人宮崎県栄養士会
委 員	都城市食生活改善推進員連絡協議会
委 員	都城地区食品衛生協会
委 員	一般社団法人都城観光協会
委 員	宮崎県都城保健所
委 員	宮崎県農業協同組合 都城地区本部

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市弁当調達要項

1 目的

この要項は、都城市で開催する「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下、「大会」という。）に参加する選手、監督、役員、視察員、報道員その他関係者（以下「大会参加者」という。）に斡旋し、又は支給する弁当の調達について、必要な事項を定めることを目的とする。

2 実施方法

大会参加者の弁当調達に係る業務は、関係機関、関係団体等の協力を得て、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）が実施するものとする。

3 弁当調達計画

弁当調達においては、あらかじめ必要数を把握し、適切な計画を作成するものとする。

4 弁当の種類

弁当の種類は、次の各号に掲げるものとする。

- （１） 斡旋弁当 選手、監督、視察員及び報道員に斡旋する弁当をいう。
- （２） 支給弁当 競技役員、競技補助員等に支給する弁当をいう。

5 調達期間

調達期間は、斡旋弁当にあっては大会の開催期間（公式練習日を含む。）、支給弁当にあっては大会の準備、運営等に係る業務に従事する期間のうち、市実行委員会が必要と認める期間とする。

6 弁当の料金

弁当の料金は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（宮崎県）宿泊要項に準じるものとする。

7 弁当調製施設の指定

弁当調製施設の指定は、宿泊衛生専門委員会に設置する弁当部会（以下「部会」という。）において選定し、市実行委員会が行うものとする。

8 指定取り消し

指定取り消しは、前条の規定により受けた弁当調製施設が次の各号のいずれかに該当する場合に行うことができる。

- （１） 食品衛生法その他関係法令に基づく許可の取り消し、営業の全部又は一部の禁止

若しくは期間を定めての停止処分を受けたとき。

- (2) 食品衛生法その他関係法令に基づく改善命令及び指導に速やかに従わないとき。
- (3) 弁当調製施設の業務を無断で第三者に委託したとき。
- (4) その他市実行委員会が不適當と認めたとき。

9 弁当引換所の設置及び運営

弁当引換所の設置及び運営は、衛生上の安全確保に配慮し適正に行うものとする。

10 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、弁当の調達について必要な事項は、別に定めるものとし、必要に応じて部会において調査研究を行うものとする。
- (2) 本市で開催する競技別リハーサル大会における弁当調達についても、必要に応じてこの要項を準用する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市環境衛生対策要項

1 趣旨

この要項は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市医事衛生基本計画」に基づき、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「大会」という。）における環境衛生対策について万全を期するため、必要な事項を定める。

2 実施方法

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会は、日本のひなた宮崎国スポ・障スポ 実行委員会と相互に連絡調整を図るとともに、関係機関等の協力を得て環境衛生対策を実施する。

3 環境衛生対策

(1) 環境衛生に対する意識の向上

関係機関・団体等と連携し、市民及び大会参加者等の環境衛生に対する意識の向上を図り、環境美化の推進に努める。

(2) 会場の環境美化

関係機関・団体等と連携し、競技会場及び練習会場等の衛生管理体制を確立し、会場を清潔に保持するよう努める。

(3) 生活環境の美化

関係機関・団体等と連携し、会場、宿舎等の周辺における道路、河川、公園等公共の場所の清掃を積極的に行うとともに、ごみの不法投棄、空き缶等のポイ捨ての防止に向けた啓発に努める。

(4) 廃棄物の処理

会場等における廃棄物の発生抑制、分類収集を徹底し、可能な限りリユース及びリサイクルに努める。また、リサイクルができない廃棄物については、適切な処理を行う。

(5) 宿舎の衛生対策

関係機関・団体等と連携し、宿舎の管理者に対し、宿泊者が快適な条件のもとに過ごせるような宿舎及びその周辺の環境衛生の保持に努めるよう指導する。

(6) 飲料水の衛生対策

水道事業者、その他関係機関と連携し、必要に応じて水質検査等を行うとともに、施設等の維持管理に関する指導の強化を図るなど、飲料水の衛生保持に努める。

(7) 衛生害虫等の対策

民間団体、地域住民等の協力を得て、ねずみ・衛生害虫等の発生防止対策の啓発に努めるとともに、必要に応じて予防及び駆除による衛生的な環境の確保を図る。

(8) 動物の適正管理

会場、宿舎等の周辺における動物の危害の防止を図る。また、飼い犬、猫等の適正

な飼養管理に向けた啓発に努める。

(9) 受動喫煙防止対策

ア 指定場所以外での喫煙防止対策

競技会場等が必要に応じて喫煙所を設置するとともに、指定喫煙所以外での喫煙防止対策に努める。

イ 受動喫煙防止に対する意識の向上

関係機関・団体等と連携し、受動喫煙による健康への悪影響等について普及啓発を行い、受動喫煙防止に関する意識の向上を図る。

4 その他

(1) この要項に定めるもののほか、環境衛生対策の実施に関して必要な事項は別に定める。

(2) 大会の開催に伴い本市で実施する競技別リハーサル大会における環境衛生対策についても、この要項を準用する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市輸送交通業務実施要項

1 趣旨

この要項は、「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市輸送・交通基本計画」に基づき、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ（以下「大会」という。）における輸送交通業務の実施について万全を期するため、必要な事項を定めるものとする。

2 実施方法

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会（以下「市実行委員会」という。）は、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 大会実行委員会（以下「県実行委員会」という。）と連携を図るとともに、関係機関・団体等の協力を得て、輸送交通業務を実施する。

3 輸送交通業務の一般的事項

（1）輸送対象者

輸送の対象者は本市で開催する競技会に参加する次の者とする。

- ア 選手・監督
- イ 競技役員、競技補助員
- ウ 競技会役員、競技会係員、競技会補助員
- エ 報道関係者、視察員
- オ 一般観覧者
- カ その他、市実行委員会が必要と認めた者

（2）輸送交通業務の実施期間

輸送交通業務の実施期間は原則として、公式練習日を含む各競技会の会期中とする。ただし、特別な事情があると認められる場合は、この限りではない。

（3）輸送交通業務の範囲

- ア 輸送交通業務の範囲は、競技会場、練習会場、指定集合地、宿舎その他関連諸行事の会場等（以下「競技会場等」という。）の相互間とする。
- イ 輸送については、原則として公共交通機関を利用することとし、公共交通機関による輸送が困難な場合及び競技会の運営に支障が生じる場合は、計画輸送を行う。
- ウ 計画輸送は、原則として当該輸送交通業務の範囲が近距離（概ね2キロメートル未満をいう。）の場合は行わない。

4 輸送交通業務の内容

（1）輸送業務の内容

ア 輸送計画の策定

市実行委員会は、関係機関・団体等の協力を得て、輸送対象者、発着場所、発着時刻等を内容とする輸送計画を策定する。

イ 指定集合地の設定

市実行委員会は、輸送の効率化を図るため、必要に応じて、関係機関・団体等と協議の上、指定集合地を設定する。

ウ 輸送経路の設定

市実行委員会は、参加人数、時間帯等を考慮し、関係機関・団体等と協議の上、輸送経路を設定する。

エ 輸送案内

市実行委員会は、必要に応じて主要な駅等に案内所を設置し、宿舎及び競技会場等への誘導案内を行う。

オ 広域配宿における輸送

市実行委員会は、広域配宿によって都城市以外に所在するホテル等を宿舎として利用する選手・監督、役員等の輸送を実施する。

カ 同一競技が2市町以上で行われる場合の輸送

市実行委員会は、同一競技が都城市と都城市以外の会場地で行われる場合、関係会場地市町実行委員会と協議の上、必要に応じて輸送を実施する。

キ 一般観覧者の輸送

市実行委員会は、一般観覧者を安全、円滑かつ効率的に輸送を行うため、関係機関・団体等の協力を得て、必要な措置を講じる。

ク バス・タクシー乗降所の設置及び係員の配置

市実行委員会は、輸送対象者の利便と安全を図るため、競技会場等内のバス・タクシーの発着場所に乗降所を設置し、必要に応じて、係員を配置する。

ケ 全国輸送との連携

(ア) 指定下車駅等の設定

市実行委員会は、県実行委員会と協議の上、選手・監督、役員等の下車駅等を、宿泊地の最寄り駅等から1箇所以上設定する。

(イ) 指定下車駅等からの輸送

指定下車駅等と宿泊施設の相互間の輸送については、原則として公共交通機関等を利用した自主移動とする。ただし、市実行委員会は、移動距離及び道路交通事情を勘案し、必要に応じて、輸送を実施する。

(2) 輸送力の確保

ア 臨時バスの運行等

市実行委員会は、必要と認められる場合には、関係機関・団体等に対して、臨時バスの運行、バス路線の変更、停留所の臨時設置等を要請するとともに、必要な措置を講じる。

イ 車両の確保

計画輸送に使用する車両は、借上バス・タクシー等により行い、関係機関・団体等の協力を得て、必要台数を市実行委員会が確保する。

ウ 予備車の確保

市実行委員会は、大会期間中、予備車を準備して緊急時に備える。

(3) 交通業務の内容

ア 交通規制

市実行委員会は、各競技会の円滑な運営に万全を期するため、所轄警察署等の協力を得て、必要に応じて競技会場周辺等における交通規制措置を講じる。

イ 案内・誘導

市実行委員会は、輸送対象者を安全で正確かつ迅速に目的地へ誘導するため、必要に応じて、主要道路、競技会場及びその周辺、駐車場等に案内・誘導看板等を設置する。

ウ 交通整理

市実行委員会は、輸送対象者の通行の安全及び競技会場周辺の混雑防止のため、必要な箇所に係員を配置し、交通の整理誘導を実施する。

エ 路上駐車防止

市実行委員会は、交通渋滞や交通事故発生の要因となる路上駐車を防止するため、所轄警察署の協力を得て、必要に応じて競技会場周辺等の巡回を行う。

オ 民間駐車場への迷惑駐車防止

市実行委員会は、競技会場周辺等の民間駐車場への迷惑駐車を防止するため、民間施設所有者等の協力を得て、必要に応じて競技会場周辺等の巡回を行う。

カ 指定駐車場の確保及び開設

市実行委員会は、輸送対象者が利用する車両台数を勘案し、関係機関・団体等の協力を得て、競技会場、練習会場の周辺等に必要な指定駐車場の確保に努める。なお、移動距離及び道路交通事情を勘案し、必要に応じて、シャトルバスの運行等必要な措置を講じる。

キ 指定駐車場の管理及び運営

市実行委員会は、指定駐車場に係員を配置し、車両の適切な誘導を行い、事故防止に努める。

ク 駐車許可証の交付

市実行委員会は、特定の指定駐車場の利用者に対して、事前に駐車許可証を交付し、許可車両であることを確認することにより、適切な車両誘導及び駐車場の円滑な管理運営に努める。

ケ 交通環境整備

市実行委員会は、大会期間中の環境への負荷の軽減と交通混雑の緩和のため、輸送対象者に対して、公共交通機関の利用の促進及び自家用車での来場自粛を働きかける。

また、市民等に対しても、渋滞の原因となる路上駐車防止、民間駐車場への迷惑駐車防止、自家用車利用の自粛協力等の啓発を行う。

コ 道路機能の保全

市実行委員会は、大会関係車両の通行が予想される道路の破損箇所の補修など、必要な保全対策及び大会期間中に交通渋滞が予想される道路や競技会場等周辺の道路工事の抑制等について、関係機関へ協力を求める。

5 その他

- (1) この要項に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
- (2) 競技別リハーサル大会における輸送交通業務の実施についても、必要に応じてこの要項を準用する。

会長が専決処分した事項について

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会会則第14条第1項に基づき、下記のとおり会長が専決処分を行ったことから、同条第2項の規定により報告し、承認を求めます。

令和7年度暫定収支予算

令和7年度に実施する事業や事務局の運営に係る経費のうち、年度当初から総会開催までの期間の必要額について、暫定収支予算として会長が専決処分を行ったものです。

○収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	備 考
1 負担金	10,398,762	都城市負担金
2 繰越金	1,835,238	前年度繰越金
合 計	12,234,000	

○支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	備 考
1 総務費	1,653,100	
(1) 会議費	343,870	会場費等
(2) 事務局費	1,309,230	消耗品費、通信運搬費等
2 開催推進費	10,580,900	
(1) 調査研究費	8,237,880	第1次輸送計画等策定業務委託、 滋賀大会等調査研究費 等
(2) 広報啓発費	2,343,020	広報啓発物品製作費、 ホームページ保守業務委託 等
合 計	12,234,000	

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会 令和6年度事業報告

1 会議の開催

(1) 総会（9月書面開催）、実行委員会設立

(2) 専門委員会開催

- ア 総務企画専門委員会 11月11日
- イ 宿泊衛生専門委員会 11月12日
- ウ 競技式典専門委員会 11月18日
- エ 輸送交通専門委員会 11月19日

(3) 常任委員会（3月書面開催）

2 準備業務の推進

(1) 総務企画

- ア 都城市開催推進総合計画の進行管理
- イ 企業協賛の推進
- ウ リハーサル大会経費検討
- エ 市民運動の検討
- オ 実行委員会ホームページ開設
- カ ボランティア募集等の検討
- キ 観光・接伴基本計画策定

(2) 競技式典

- ア 競技会場レイアウト設計
- イ 競技用具整備の推進
- ウ 競技会係員・補助員編成計画策定
- エ リハーサル大会開催基本計画策定
- オ 施設整備の推進・点検
- カ 式典基本計画策定



総務企画専門委員会の様子



宿泊衛生専門委員会の様子



競技式典専門委員会の様子



輸送交通専門委員会の様子

(3) 宿泊衛生

- ア 医療救護要項策定
- イ 防疫対策要項策定
- ウ 防疫対策実施要領策定
- エ 食品衛生対策要項策定
- エ 環境衛生対策要項策定
- オ 弁当部会設置要項策定
- カ 弁当調達要項策定
- キ 選手・監督への夕食提供の検討

(4) 輸送交通

- ア 輸送交通業務実施要項策定
- イ 消防防災・警備基本計画策定
- ウ 消防防災・警備業務実施要項策定
- エ 輸送計画基礎調査
- オ 駐車場利用計画とパークアンドライドの検討

3 先催地の視察、調査及び研究

(1) SAGA2024国スポ・全障スポ

- ・佐賀市、唐津市、鳥栖市、吉野ヶ里町、みやき町、嬉野市
(国スポ：10月5日～10月15日、障スポ：10月26日～10月28日)

(2) SAGA2024国スポ・全障スポ 事業概要説明会への出席

- ・佐賀市、唐津市、鳥栖市(12月19日、20日、23日、24日)

(3) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ リハーサル大会

- ・長浜市、彦根市、大津市

(4) 先催地の情報収集、資料収集

4 気運醸成のPR活動

(1) 国スポ・障スポ開催決定イベントの開催

- ・都城市単独イベント スポフェス都城(9月28日)
- ・県合同イベント 開催決定イベント(11月4日)

(2) カウントダウンボードの制作

- ・都城工業高等学校が制作(令和7年1月にお披露目)

(3) 各種イベントでの広報活動、PRグッズの作成

(4) DigSportsの実施

SAGA 2024 国スポ・全障スポ 開催状況

国 スポ：令和6年10月5日～10月15日

全障スポ：令和6年10月26日～10月28日



① 総合開・閉会式

- ・ 総合開会式に天皇皇后両陛下、閉会式に秋篠宮佳子様のご出席
- ・ これまでよりも簡略化が図られ、閉会式はSAGAアリーナで開催された。



総合開会式



会場モニュメント



閉会式

② 医事・衛生

- ・ 医師会や看護師会に依頼し、競技会場に医療関係者を配置
- ・ 傷病別の取り扱いは、創傷や打撲、熱中症が多くみられた。



救護室



看護師（常駐）



アンチドーピング広報（薬剤師会）

③ 競技運営

- ・ 競技会の運営は、県競技団体が中心となり実施されていた。
- ・ 会場周辺の案内所や駐車場などは、市職員が案内や誘導などを対応



陸上競技



バレーボール



ソフトテニス



バスケットボール



競技会場案内所



臨時駐車場

④ 仮設施設

- ・ 既存施設で不足する設備等については、仮設で対応されていた。
- ・ 仮設物の規模が大きく、早い段階での配置計画が必要



観客席・照明（ソフトテニス）



仮設トイレ



仮設スタンド（バレー）

⑤ 輸送交通

- ・ 佐賀市は、公共交通機関の利用を推奨し、駐車場を設けなかった。
- ・ 唐津市は、各競技会場と駅等を結ぶシャトルバスを運行していた。



案内表示



ラッピングバス



シャトルバス

⑥ おもてなし

- ・ 選手や監督、観覧者を迎える歓迎装飾が市内各所に施されていた。
- ・ 市や市民、学校等が一体となって様々なおもてなしを行っていた。



佐賀駅



総合案内所（唐津駅内）



唐津市役所



炬火



学校応援のぼり旗



ふるまいドリンク

気運醸成のPR活動

① スポフェス（9月28日）

- ・ Mallmall で、国スポ・障スポ開催決定を記念してイベントを実施

② カウントダウンボードの制作（1月22日）

- ・ 都城工業高等学校電気科及びインテリア科の生徒が制作



スポフェス
(ボッチャ体験)



スポフェス
(かけっこチャレンジ)



カウントダウンボード
お披露目式

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会

令和6年度収支決算

○収入の部

【単位：円】

科 目	当初予算額		現計予算額	決算額	備 考
1繰越金	2,280,059		2,280,059	2,280,059	R5年度繰越金
2負担金	10,951,000		10,951,000	10,951,000	都城市負担金
3諸収入	1,000		1,000	786	預金利息
合計	13,232,059		13,232,059	13,231,845	

○支出の部

【単位：円】

科 目	当初予算額	流用額	現計予算額	決算額	備 考
1総務費	2,324,959	0	2,324,959	1,487,953	
(1) 会議費	492,059	0	492,059	311,256	総会開催に係る経費 等
(2) 事務局費	1,832,900	0	1,832,900	1,176,697	消耗品費、通信運搬費、使用料 等
2開催推進費	10,907,100	0	10,907,100	9,908,654	
(1) 調査研究費	6,062,800	749,000	6,811,800	6,056,859	輸送計画基礎調査業務委託 佐賀大会等視察調査費 等
(2) 広報啓発費	4,844,300	△ 749,000	4,095,300	3,851,795	広報啓発物品製作費 等
合計	13,232,059	0	13,232,059	11,396,607	

【収入額】 13,231,845円 — 【支出額】 11,396,607円 = 【差引額】 1,835,238円

(差引額については次年度へ繰越)

監 査 報 告

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ都城市実行委員会会則第17条の規定に基づき、令和6年度の収支決算に関する証拠書類及び関係諸帳簿について監査したところ、その内容が適正であったことを認めます。

令和7年5月8日

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ都城市実行委員会

監 事 都城市代表監査委員

新井 志子  印

監 事 都城市会計管理者

田代 智子  印

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ

都城市実行委員会

会 長 池 田 宜 永 様

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会 令和7年度事業計画（案）

1 会議の開催

- (1) 総会（7月1日）
- (2) 専門委員会（11月頃 開催予定）
 - ア 総務企画専門委員会
 - イ 宿泊衛生専門委員会
 - ウ 競技式典専門委員会
 - エ 輸送交通専門委員会
- (3) 常任委員会（2月頃 開催予定）

2 準備業務の推進

- (1) 総務企画
 - ア 都城市開催推進総合計画の進行管理
 - イ 識別用品整備要項の策定
 - ウ 遺失物・拾得物取扱要項の策定
 - エ 保険加入要項の策定
 - オ 案内所・休憩所等設置運営要項策定
 - カ 売店設置運営要項の策定
- (2) 競技式典
 - ア 競技会運営に関する準備
 - イ 競技会場等設計業務委託
 - ウ 情報通信基本計画の策定
- (3) 宿泊衛生
 - ア 医療救護実施要領の策定
 - イ 環境衛生対策実施要領の策定
 - ウ 食品衛生対策実施要領の策定
 - エ 県配宿・輸送業務第1次受託事業者との調整
 - オ 宿泊施設への宿舎説明会

- カ 選手・監督への夕食提供の検討
- キ 弁当部会の開催
- ク 弁当調整施設の公募・選定

(4) 輸送交通

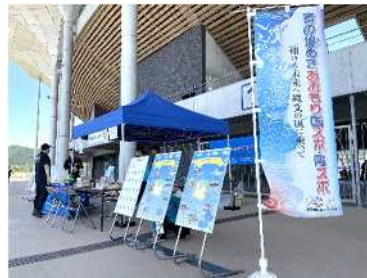
- ア 第1次輸送計画の策定
- イ 競技別リハーサル大会輸送計画策定
- ウ 競技別リハーサル大会消防防災・警備計画策定
- エ 交通渋滞対策の検討
- オ 各競技特性の把握・分析

3 先催地の視察、調査及び研究

- (1) 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ リハーサル大会
・青森市（6月13日～6月16日、7月26日～7月27日）



青森市庁舎の装飾



陸上競技会場のPRブース

- (2) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
・長浜市、彦根市、近江八幡市、大津市
(国スポ：9月28日～10月8日、障スポ：10月25日～10月27日)
- (3) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 事業概要説明会
・長浜市、彦根市、近江八幡市、大津市等（12月）
- (4) 先催地の情報収集、資料収集

4 気運醸成の取組

(1) 気運醸成イベント

- ・スポフェス都城（11月29日）

(2) テレビやラジオへの出演

- ・MRT「幸せ上々みやこのじょう」
- ・UMK「#Link
（みんなで挑戦！ ○○選手権～縄跳び編～）」
- ・BTV「みやこんじょジャーナル」
- ・MRT ラジオ「みやこんじょドキドキナビ」等



みんなで挑戦！
○○選手権～縄跳び編～

(3) 市広報紙（広報都城）で特集記事の掲載

(4) ホームページや SNS による情報発信

(5) 大規模イベント等で PR ブース出展

(6) 中小規模イベント等で PR グッズ配布

(7) DigSports（ディグスポーツ）の実施

- ・Mallmall や「道の駅」都城 NiQLL、
イオンモール都城駅前店で実施



Instagramアカウント

5 市民運動の推進

(1) ボランティア募集

(2) 企業協賛の依頼

(3) 学校応援の調整

(4) 花いっぱい運動の実施

※令和7年度は山之口地区で試行実施

(5) 大会イメージソング・ダンス出前授業参加

(6) 地域団体への説明会の実施

(7) 気運醸成看板の設置



協賛車両（青森市）
〔青森三菱自動車
青森スズキ自動車〕

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会

令和7年度収支予算（案）

○収入の部（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1 負担金	21,187,762	都城市負担金
2 繰越金	1,835,238	前年度繰越金
合 計	23,023,000	

○支出の部（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1 総務費	2,364,480	
(1) 会議費	418,000	会場費等
(2) 事務局費	1,946,480	消耗品費、通信運搬費等
2 開催推進費	20,658,520	
(1) 調査研究費	15,922,020	第1次輸送計画策定業務委託、 滋賀大会等調査研究費 等
(2) 広報啓発費	4,736,500	広報啓発物品製作費、 気運醸成イベント開催経費等
合 計	23,023,000	

※報告第7号「令和7年度 暫定収支予算」を含む

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要

1 概 要

国民スポーツ大会(国民体育大会)は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとすることを目的として行われます。大会は、都道府県持ち回りで開催され、都道府県対抗で競技を実施する国内最大のスポーツの祭典です。

全国障害者スポーツ大会は、障がい者が競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典です。

2 主 催

国民スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県となります。また、各競技会については、日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村を含めたものとなります。

全国障害者スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県及び市町村に、その他の関係団体を加えたものとなります。

3 大会の開催時期等

【国民スポーツ大会】

○開催時期：9月26日(日)～10月6日(水)

○開催期間：11日間

【全国障害者スポーツ大会】

○開催時期：10月23日(土)～10月25日(月)

○開催期間：3日間

4 大会名称、マスコットキャラクター、愛称、スローガン

○国民体育大会は、令和6年に開催される第78回大会(佐賀県)以降、国民スポーツ大会に名称変更され、略称は国スポ(こくすぽ)となります。

○マスコットキャラクター 『みやざき犬』



○愛称

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

○スローガン

つむ 紡ぐ感動 神話となれ

5 実施予定競技

□ 国民スポーツ大会

(1) 正式競技(37 競技)

① 毎年実施競技(36 競技)

陸上競技	水泳	サッカー
テニス	ボート	ホッケー
バレーボール	体操	バスケットボール
レスリング	セーリング	ウエイトリフティング
ハンドボール	自転車	ソフトテニス
卓球	軟式野球	相撲
馬術	フェンシング	柔道
ソフトボール	バドミントン	弓道
ライフル射撃	剣道	ラグビーフットボール
スポーツクライミング	カヌー	アーチェリー
空手道	銃剣道	なぎなた
ボウリング	ゴルフ	トライアスロン

② 隔年実施競技(2 競技のうち 1 競技を実施)

ボクシング、クレール射撃のうち宮崎大会ではボクシングを実施

(2) 特別競技(1 競技)

高等学校野球(硬式及び軟式)

(3) 公開競技(7 競技)

綱引	ゲートボール	武術太極拳
パワーリフティング	グラウンド・ゴルフ	バウンドテニス
エアロビック		

(4) デモンストレーションスポーツ

地方スポーツの推進、国民の健康増進、体力向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るために、正式競技及び公開競技以外の競技を対象に生涯スポーツ社会の実現に寄与するという観点から実施することができる競技

□ 全国障害者スポーツ大会

(1) 正式競技(14 競技)

陸上競技 (身体・知的)	水泳 (身体・知的)	アーチェリー (知的)
卓球 (身体・知的・精神)	フライングディスク (身体・知的)	ボウリング (知的)
ボッチャ (身体)	バスケットボール (知的)	車いすバスケットボール (身体)
ソフトボール (知的)	グランドソフトボール (知的)	フットソフトボール (知的)
バレーボール (身体・知的・精神)	サッカー (知的)	

(2) オープン競技

競技規則に定められていない競技・種目で、広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められるものについては、主催者間で協議の上、実施することができる競技

6 文化プログラム

スポーツ文化や開催県の郷土文化等をテーマとし開催県における国民スポーツ大会の開催の気運醸成や国民スポーツ大会の目的や意義の全国的な普及啓発等を目的として実施するプログラム

7 参加人数

(県全体：延べ人数)

	国民スポーツ大会 (R 6 佐賀大会実績)	全国障害者スポーツ大会 (R 6 佐賀大会実績)
選手・監督数	74,133 人	24,108 人
大会関係者	85,670 人	28,353 人
観覧者数	349,574 人	25,555 人
合 計	509,377 人	78,016 人

◎ 過去大会実績を参考にすると、都城市には延べ約 190,000 人が来場する見込み。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催基本方針

1 基本方針

スポーツは、「する」、「みる」、「ささえる」という様々な形で、人々に「楽しさ」や「喜び」を感じさせ、また、人と人との交流及び地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものです。

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下、「両大会」という。）の開催に当たっては、本市の地の利及び地域資源を最大限に活用し、市民と行政が協働し、本市特有の魅力を全国に発信する大会を目指します。

また、両大会は、本市が目指す「市民の笑顔が広がる 南九州のリーディングシティ」の実現に向けて、市民・関係団体・行政などが相互に連携を深め、都城の総力を結集する大会として開催します。

2 実施目標

（１） オール都城でつくり・はぐくみ・自ら参加する大会

市民が、大会に「参加（する）」、「応援（みる）」、「絆（ささえる）」など、性別、年齢、障がいの有無等に関係なく、様々な関わりを持つことで、開催機運を盛り上げる市民総参加型の大会を目指します。

（２） おもてなしの心で都城の魅力を全国に発信する大会

「島津発祥の地」としての歴史や「日本一の肉と焼酎」など、本市が誇る地域資源を全国に発信するとともに、来訪者を心のこもったおもてなしでお迎えし、本市特有の魅力に触れていただき、再度、本市に訪れたいと感じていただけるような大会を目指します。

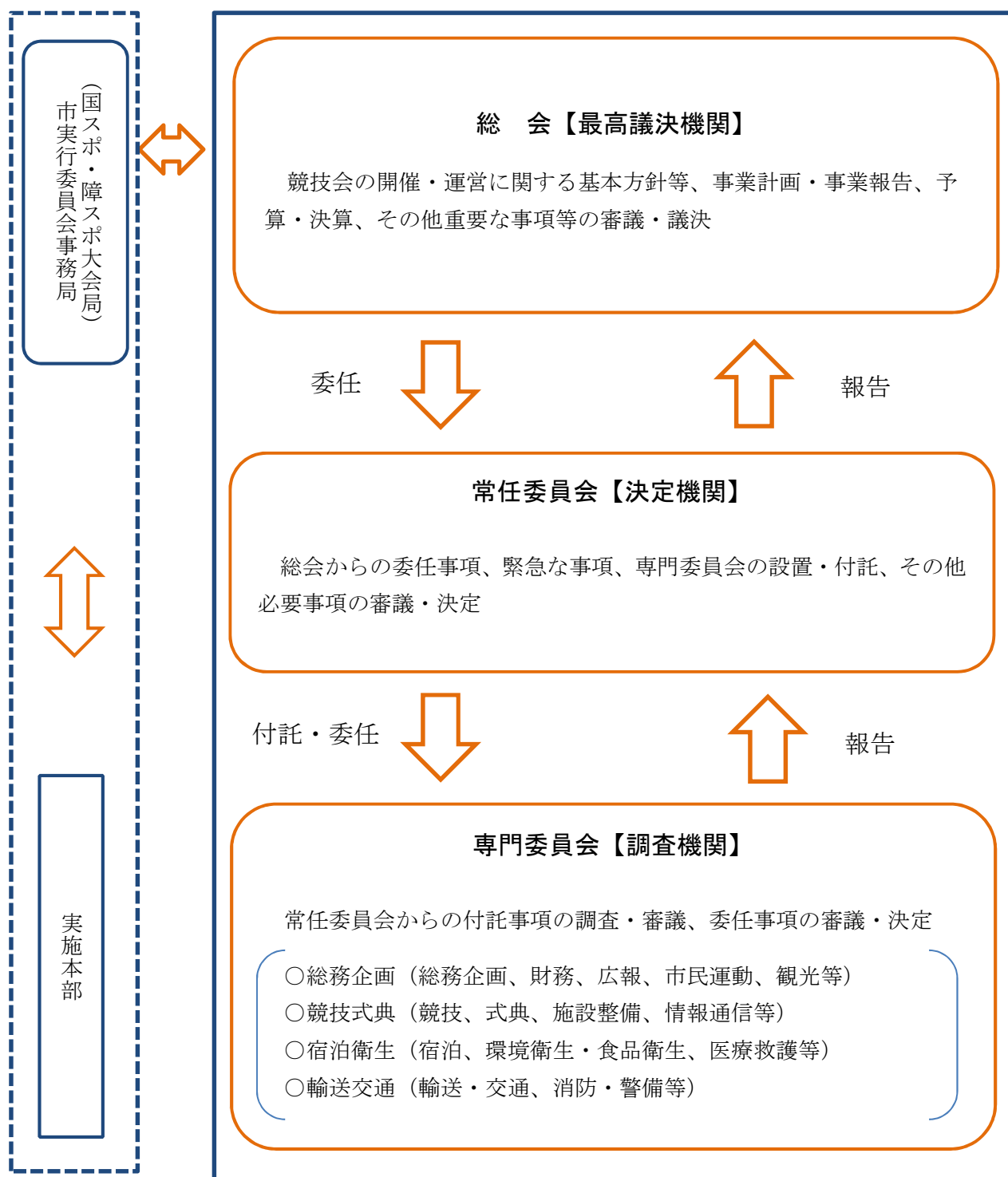
（３） 都城が誇る拠点施設を十分に活かした創意工夫のある大会

開催準備、大会運営に当たっては、拠点施設や競技用具等の有効活用に努め、効率化を図りつつも、市民及び関係団体と創意工夫を凝らし、本市の特色が十分に活かされた大会を目指します。

（４） 地域スポーツの活性化と子どもたちが都城を誇りに思える大会

大会開催を契機とし、地域における健康づくりや生きがいづくりなど、本市におけるスポーツの推進を一層図り、また、子どもたちが、大会を通じてスポーツに親しみを持つとともに、都城を誇りに思えるような大会を目指します。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会推進体制



〔国民スポーツ大会開催基準要項 第25項〕

開催県及び会場地市町村は、大会運営のためにそれぞれ実行委員会を設置する。ただし、公開競技に係る実行委員会については、当該中央競技団体が開催関係機関・団体と協議のうえ、必要に応じて設置する。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」（以下「両大会」という。）の成功に向け、都城の総力を結集し、オール都城で来訪者を心のこもったおもてなしでお迎えし、本市が目指す「市民の笑顔が広がる 南九州のリーディングシティ」の実現に向けて、都城市開催基本方針に基づき開催推進総合計画を定めるものとする。

1 基本方針

(1) 総務企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、両大会を一過性のものとせず、その開催を通じて市民が都城に愛着と誇りを持てる大会とするため、総合的な計画の立案と施策の推進を図る。

(2) 財務

県、競技団体、関係機関及び関係団体との相互協力のもと、創意工夫を凝らした魅力あふれる大会を目指し、適切で効率的な財務の運営を図る。

(3) 広報

両大会に対する市民の関心や参加意欲を高めるため、デジタル技術を積極的に活用し、効果的な広報活動を展開するとともに、参加した選手をはじめ、両大会に関わった人々を通じて都城の豊かな自然や観光、文化など多彩な魅力を全国に向けて発信する。

(4) 市民運動

市民一人ひとりが大会開催の意義を理解し、それぞれの立場で積極的に参加する機運の醸成を図るとともに、市民総参加のもと一丸となって大会を盛り上げていくことにより、両大会終了後も地域コミュニティの醸成や地域の活性化の推進につなげる。

(5) 観光・接待

選手・監督をはじめ、本市を訪れるすべての方々を温かくお迎えするとともに、自然、歴史、文化、食など本市の多彩な魅力に触れていただくことで、「また訪れたい」と感じていただけるよう心のこもったおもてなしを提供する。

(6) 競技

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密に連携し、また、デジタル技術を積極的に活用しつつ、競技会の円滑な運営を図るとともに、必要な用具等については、効率的に整備する。

(7) 式典

県、競技団体、関係機関及び関係団体と十分に協議をし、創意工夫を凝らした温かみのある式典とする。

(8) 施設

国民体育大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用を図るとともに、両大会開催後の市民利用にも配慮した整備に努める。

(9) 宿泊

選手・監督をはじめ、大会関係者等の宿泊については、宿泊施設等と緊密に連携し、安全で快適な宿舎の確保を図り、受け入れ体制に万全を期する。

(10) 医事・衛生

選手・監督をはじめ、両大会に携わるすべての方々が清潔かつ快適な環境のもとで十分な活躍と観覧ができるよう、県、競技団体、関係機関及び関係団体の協力を得ながら、食品衛生及び環境衛生に配慮するとともに、防疫体制及び医療救護体制を確立する。

(11) 輸送・交通

本市の交通事情を勘案し、交通事業者その他関係機関との連携により、安全・安心かつ効率的な輸送手段の確保に努める。併せて、デジタル技術を積極的に活用し、公共交通機関の利用を促進するなど交通混雑の緩和と環境に配慮した輸送・交通体制の確立を図る。

(12) 消防防災・警備

競技会場その他大会関係施設における災害の防止、治安の確保及び非常時における緊急対応に万全を期するため、消防、警察その他関係機関等と緊密に連携し、消防防災・警備体制の確立を図る。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画【年度別業務】

年 度 西 暦 年 開 催 県	令和4年度 2022年 開催5年前 栃木県	令和5年度 2023年 開催4年前 鹿児島県	令和6年度 2024年 開催3年前 佐賀県
主要 行事	① 大会開催内定 ② 準備委員会設立		③ (仮称)国スポ推進局設置 ④ 文部科学省・日本スポーツ協会総合視 ⑤ 大会開催・会期決定 ⑥ 実行委員会へ改組
準備 組織	① 準備委員会設立総会 ② 常任委員会開催 ③ 総務企画専門委員会設置準備 競技式典専門委員会設置準備 宿泊衛生専門委員会設置準備 ④ 庁内推進会議開催	⑤ 準備委員会総会開催 ⑥ 総務企画専門委員会設置・開催 競技式典専門委員会設置・開催 宿泊衛生専門委員会設置・開催	⑦ 実行委員会総会開催 ⑧ 実施本部設置・開催
総務 企画 専門 委員会	1 総 務 企 画	① 県準備委員会との連絡調整 ② 開催準備総合計画策定・進行	⑤ 県実行委員会との連絡調整 ⑥ 企業協賛の推進 ⑦ リハ大会経費検討
	2 財 務	③ 企業協賛取扱要項策定 ④ 大会経費調査検討	
	3 広 報	② 広報基本計画策定 ③ 広報啓発活動の推進 ④ 準備委員会ホームページ開設	
	4 市 民 運 動	① 市民運動基本計画策定 ② ボランティア募集要項策定 ③ ボランティア募集等の検討	④ 市民運動の推進 ⑤ ボランティア募集・研修会開
	5 観 光 ・ 接 伴		① 観光・接伴基本計画策定

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画【年度別業務】

令和7年度 2025年 開催2年前 滋賀県		令和8年度 2026年 開催1年前 青森県	令和9年度 2027年 開催年 宮崎県	第81回国民スポーツ大会開催・第26回全国障害者スポーツ大会開催	実行委員会解散
		⑦ リハーサル大会開催	⑧ 第81回国民スポーツ大会開催 ⑨ 第26回全国障害者スポーツ大会開催		
⑨ 実行委員会総会開催	⑪ 実行委員会総会開催	⑬ 実行委員会総会開催			
⑩ リハ大会実施本部運営マニュアル作成	⑫ 大会実施本部運営マニュアル作成				
⑧ リハ大会予算編成	⑫ リハ大会予算執行・決算 ⑬ 大会経費予算編成	⑭ 大会予算執行・決算 ⑮ 大会識別用品整備	⑯ 大会識別用品整備 ⑰ 大会での遺失物・拾得物取扱実施 ⑱ 大会保険加入		
⑨ 識別用品整備要項策定	⑫ 大会識別用品整備	⑬ 大会での遺失物・拾得物取扱実施	⑭ 大会保険加入		
⑩ 遺失物・拾得物取扱要項策定	⑫ リハ大会での遺失物・拾得物取扱実施	⑬ 大会識別用品整備	⑭ 大会での遺失物・拾得物取扱実施		
⑪ 保険加入要項策定	⑫ リハ大会保険加入	⑬ 大会識別用品整備	⑭ 大会での遺失物・拾得物取扱実施		
⑤ 大会報告書編成方針検討	⑥ 大会報告書編成方針決定	⑦ 大会報告書策定			
⑥ リハ大会ボランティア業務計画策	⑦ 大会ボランティア業務計画策 ⑧ リハ大会ボランティア配置	⑨ 大会ボランティア配置			
② 歓迎装飾・接伴実施要項策定	⑤ 歓迎装飾・ガイドブック作成等の検討	⑧ 歓迎装飾・ガイドブック作成等の実施			
③ 案内所・休憩所等設置運営要項策	⑥ リハ大会案内所、リハ大会休憩所等設	⑨ 大会案内所、大会休憩所等設置			
④ 売店設置運営要項策定	⑦ リハ大会売店配置	⑩ 大会売店配置			

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画【年度別業務】

年 西 逆 開 催 県	度 暦 年 開 催 県	令和4年度 2022年 開催5年前 栃木県	令和5年度 2023年 開催4年前 鹿児島県	令和6年度 2024年 開催3年前 佐賀県
競技式典専門委員会	6 競技		① 競技運営基本計画策定 ② 競技用具整備計画検討・策定 ③ 競技役員等編成案の検討・策 ④ リハ大会実施検討 ⑤ デモンストレーションスポーツ開催競技選	⑥ 競技用具整備の推進 ⑦ 競技会係員・補助員編成計画 ⑧ リハ大会開催基本計画策定
	7 式典			① 式典基本計画策定
	8 施設		① 施設整備基本計画策定	② 施設整備の推進・点検
宿泊・衛生専門委員会	9 宿泊		① 宿泊基本計画策定 ② 第一次仮配宿	③ 弁当部会設置要項策定 ④ 弁当調達要項策定
	10. 医事・衛生		① 医事・衛生基本計画策定	② 医療救護要項策定 防疫対策要項策定 ③ 防疫対策実施要領策定 ④ 食品衛生対策要項策定 ⑤ 環境衛生対策要項策定
輸送交通専門委員会	11. 輸送交通		① 輸送交通基本計画策定 ② 駐車場等調査・確保	③ 輸送交通業務実施要項策定
	12. 消防・警備			① 消防防災・警備基本計画策定 ② 消防防災・警備業務実施要項

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市開催推進総合計画【年度別業務】

令和7年度 2025年 開催2年前 滋賀県	令和8年度 2026年 開催1年前 青森県	令和9年度 2027年 開催年 宮崎県	第81回国民スポーツ大会開催・第26回全国障害者スポーツ大会開催
	⑫ 競技別実施要項策定	⑮ 競技別プログラム作成・配布	
	⑬ 競技役員等編成決定	⑲ 競技役員等の編成・委嘱	
	⑭ 競技会係員・補助員編成決定・養	⑳ 競技会係員・補助員の編成・	
⑨ 競技別リハ大会実施要項策定	⑮ 競技別リハ大会プログラム作成・配		
⑩ デモスポ実施要項検討	⑯ デモスポ実施要項策定	㉑ デモスポ開催	
⑪ 情報通信基本計画策定	⑰ 情報通信業務実施要領策定	㉒ 臨時通信施設架設設置	
	③ 式典実施要項策定	⑤ 各競技会 開始式・表彰式の実	
② 炬火イベント検討	④ 炬火イベント実施計画・要項	⑥ 炬火イベント実施	
	⑧ 大会宿泊実施要項策定(県)	⑫ 宿泊本部設置	
⑤ 第二次仮配宿	⑨ 第三次仮配宿	⑬ 大会配宿実施	
⑥ 弁当部会	⑩ 弁当部会	⑭ 弁当部会	
⑦ 弁当調製施設公募・選定	⑪ リハ大会弁当調達実施	⑮ 大会弁当調達実施	
⑥ 医療救護実施要領策定	⑩ 救護所設置計画策定	⑮ 救護所設置	
⑦ リハ大会救護所設置計画策定	⑪ リハ大会救護所設置		
	⑫ 防疫対策の推進	⑯ 防疫対策の実施	
⑧ 食品衛生対策実施要領策定	⑬ 食品衛生対策の推進	⑰ 食品衛生対策の実施	
⑨ 環境衛生対策実施要領策定	⑭ 環境衛生対策の推進	⑱ 環境衛生対策の実施	
④ 第1次輸送計画策定	⑤ 第2次輸送計画策定	⑧ 輸送本部設置	
	⑥ リハ大会計画輸送の実施	⑨ 輸送業務の実施	
	⑦ 交通対策計画策定	⑩ 交通対策の実施	
	⑤ 消防計画策定	⑨ 消防・警備本部設置	
	⑥ 警備配置計画策定		
③ リハ大会消防・警備計画策定	⑦ リハ大会消防・警備実施		
④ 緊急時対応マニュアル策定	⑧ リハ大会緊急時対応マニュアルの運用	⑩ 緊急時対応マニュアルの運用	

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

都城市実行委員会総会から常任委員会への委任事項

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 都城市実行委員会会則第 11 条第 4 項第 5 号に基づく総会から常任委員会への委任事項は、次のとおりとする。

- 1 開催準備の総合企画及び運営に関すること
- 2 財務、広報、市民運動及び観光・接伴に関すること
- 3 競技、式典及び施設に関すること
- 4 宿泊及び医事・衛生に関すること
- 5 輸送・交通、消防防災・警備に関すること
- 6 その他会務に必要な事項に関すること

にっぽん 日本 こく 国 しょう しょう 障
日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ競技会場

web版はこちら



令和7年3月時点

国民スポーツ大会 ■…正式競技(37)・特別競技(1) ●…公開競技(6) ◆…デモンストレーションスポーツ(37)
全国障害者スポーツ大会 □…正式競技(14) ●…オープン競技(4)

〔成男〕成年男子 〔身〕身体障がい者が出場できる競技
〔成女〕成年女子 〔知〕知的障がい者が出場できる競技
〔少男〕少年男子 〔精〕精神障がい者が出場できる競技
〔少女〕少年女子

五ヶ瀬町

■相撲
◆フロアカーリング

日之影町

■なぎなた
◆森林セラピー
ウォーキング

高千穂町

■剣道
◆モルック

延岡市

■水泳(オープンウォータースイミング)
■バレーボール(6人制)〔成女〕
■体操(競技・新体操)
■軟式野球 ■柔道
■ソフトボール〔成男〕
●武術太極拳
●パワーリフティング
◆3B体操 ◆ウォーキング
□フットソフトボール〔知〕
□バスケットボール〔知〕
□車いすバスケットボール〔身〕

日向市

■バレーボール(ビーチバレー)
■バスケットボール〔少男・少女〕
■軟式野球
■ソフトボール〔少男・少女〕
◆サーフィン
□ブラインドベースボール〔身〕

木城町

■スポーツクライミング
●エアロビク
◆エンジョイ エアロビク

川南町

■軟式野球
◆ウォーキング

都農町

■ホッケー
◆enjoy T&F GP
◆ラジオ体操
◆アームレスリング

新富町

■サッカー〔少男〕
◆ユニカール
□サッカー〔知〕

高鍋町

■軟式野球
■バドミントン
◆フレッシュグラウンド・ゴルフ

西都市

■サッカー〔少女〕
■軟式野球
◆少年サッカー

西米良村

◆ウォーキング
◆ミュージックレクリエーション

綾町

■サッカー〔成男〕
■ハンドボール〔成男・成女〕
■馬術
◆ミニテニス

国富町

■フェンシング
◆スポーツウエルネス吹矢

宮崎市

■水泳(競泳・水球・アーティスティックスイミング)
■ソフトボール〔成女〕 ■テニス ■ライフル射撃
■ハンドボール ■ラグビーフットボール
■自転車(トラック) ■空手道 ■ソフトテニス〔少男・少女〕
■ボウリング ■卓球 ■ゴルフ ■トライアスロン
◆ラジオ体操 ◆少林寺拳法 ◆BMX・スケートボード
◆ビリヤード □水泳〔身・知〕 □ボウリング〔知〕
□卓球(サウンドテーブルテニス含む)〔身・知・精〕
□フライングディスク〔身・知〕 □ソフトボール〔知〕
●ふうせんバレーボール ●卓球バレー ●パラトライアスロン

日南市

■バレーボール(6人制)〔成男〕
■レスリング
■セーリング
■高等学校野球
●綱引
◆ターゲット・バードゴルフ
□バレーボール〔知〕

串間市

■弓道
■自転車(ロード)
◆少年・少女レスリング
◆ジュニアサッカー

熊本県熊本市

■水泳(飛込)

鹿児島県湧水町

■カヌー(スラローム・
ワイルドウォーター)

新域

